

会 議 錄

会議の名称		第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証及び 第4次つくば市観光基本計画策定委員会 第1回会議		
開催日時		令和7年(2025年)9月29日(月)午前10時開会 正午閉会		
開催場所		つくば市役所2階 会議室202		
事務局(担当課)		経済部観光推進課		
出席者	委員	岡本直久委員、小林真委員、小貫友絵委員、菊池真由美委員、空香菜子委員、貝塚厚委員、富田哲司委員、坂本美奈委員		
	その他			
	事務局	経済部：中川次長 観光推進課：久保田課長、渡邊課長補佐兼係長、 篠寄主査、塚本主任、雨宮主任		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合は その理由				
議題		(1) 第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について (2) つくば市観光に係る各種実績・考慮すべき視点について (3) 第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証 (4) 第4次つくば市観光基本計画策定にむけたアンケート実施について		
会 議	1 開 会 2 次長挨拶 3 自己紹介			

次	4 委員長の選任
第	5 議　題
	(1) 第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について
	(2) つくば市観光に係る各種実績・考慮すべき視点について
	(3) 第3次つくば市観光基本計画アクションプラン 中間検証
	(4) 第4次つくば市観光基本計画策定にむけたアンケート実施について
	6 その他
	7 閉　会

<審議内容>

1 開　会

事務局：定刻になりましたので、ただいまから第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証及び第4次つくば市観光基本計画策定委員会 第1回会議を開催させていただきます。
まず初めに会議開催にあたり、経済部次長の中川より御挨拶を申し上げます。

2 次長挨拶

事務局：(次長挨拶)

3 自己紹介

事務局：初回ですので、委員の皆さん、自己紹介をお願いします。
岡本委員から時計回りでお願いできますでしょうか。
(委員の御紹介)
(事務局の紹介)
委員の皆様、改めましてよろしくお願いいたします。

4 委員長の選任

事務局：委員長の選任に移ります。本委員会におきまして、現在委員長が選任されておりません。委員の皆様にお諮りして委員長を選任させていただきます。
どなたか推薦者はいらっしゃいますか。

(事務局一任の声あり)

今、事務局一任とのお声をいただきました。事務局より推薦させていただきたいと思います。事務局から岡本委員を委員長に推薦いたします。委員の皆様いかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

ありがとうございます。それでは、岡本委員に委員長をお願いしたいと思います。早速ではございますが、岡本委員長より御挨拶をいただきたいと思います。

岡本委員長：（委員長挨拶）

事務局：ありがとうございました。

本日の会議は、委員8名のところ、8名に御出席いただいております。第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証及び第4次つくば市観光基本計画策定委員会設置要項の第6条第2項に定めます委員の半数の出席要件を満たしていますので、会議が成立しておりますことを御報告いたします。

この後の議事進行は、委員会設置要項に基づき、岡本委員長にお願いいたします。

5 議題

(1) 第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について

岡本委員長：本会議はAI議事録を使用していますので、御発言される際には、挙手の上、御手元のマイクを使って氏名を述べてから御発言いただくよう事務局より注意事項を承っていますので、皆様御協力のほどよろしくお願ひいたします。12時を目途に終了したいと思います。

会議の公開ということですけども、本日は傍聴人がいないので、このまま進めさせていただきます。それでは議題に入ります。議題1 第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について、事務局より説明をお願いします。

事務局：（説明）

岡本委員長：ありがとうございました。この会議自体の2年間の活動のスケジュールをお示しいただきましたけども、御意見ございましたら挙手いただければと思います。

富田委員：初めてなので確認しておきたいのですが、第3次ということは、1次2次があって、それも各5年だったということでおろしいでしょうか。

事務局：おっしゃる通りです。過去の計画も共有させていただきます。

(2) つくば市観光に係る各種実績・考慮すべき視点について

岡本委員長：それでは議題2 つくば市観光に係る各種実績・考慮すべき視点について事務局より御説明をお願いします。

事務局：(説明)

岡本委員長：ありがとうございます。直近の数字、データをお示しいただきながら、つくば市の観光の現状を説明いただきました。どこからでも構いませんので、御理解いただけるまで質問していただければと思います。いかがでしょう。

富田委員：観光客入込数というのは、どうやって数えているのでしょうか。

事務局：筑波山と宝篋山の入込客数は、四半期に1回、平日1日と日曜日1日ずつ、観光案内所の前で、通過する車両や歩行者をカウントし、国が定めている基準を使って人数を割り出しています。JAXAや産総研といった常設の展示施設を持っている研究所や牡丹園等の施設は、入館者数を施設に聞き取って積算しています。あとは、まつりつくばやつくばフェスティバル、山麓秋祭りといったイベントの来場者数も足しあげて、市の観光客入込数としています。

富田委員：令和6年で計測方法や観測している場所を変えていることはありますか。

事務局：変えていません。令和6年が5年に比べて減っているのは、先ほど事務局説明でも触れたのですが、令和6年度中にJAXAが展示施設の建屋の工事を行ったため、無料の展示スペースをほぼ1年間閉鎖し、完全予約制の少人数見学しか受け入れていなかったので、来場者数が前年比9割減くらいしていて、その影響が大きいと思います。

貝塚委員：各種実績の6ページでフォレストアドベンチャーの利用人数が減少傾向と示されていますが、フォレストアドベンチャーは、筑波山での滞在型の施設として有用であることから、当方の観光コンベンション協会でもPRに努めているところです。減少傾

向は全国的な傾向であるということですけれども、何か市として、利用者減を食い止めるような話し合いや工夫等されていませんか。

事務局：フォレストアドベンチャーは、つくば市が施設を管理して運営を民間にゆだねるというシステムをとっています。フォレストアドベンチャー自体の軸が天然の森林を活用したアスレチックで、高いところを綱渡りしたり、ジップラインというターザンロープみたいなもので滑空したり、そういった大人も子供も楽しめる施設になっています。ただ、近年の暑さなどもあってか、カミキリムシ等の自然の昆虫とか動物的な被害で、施設内の森林の一部が被害を受けてしまっているので、昆虫等の対策をしながら、コースや利用プランを変えるなど、運営の形態も含めて事業者とともに試行錯誤している状況です。ここ数年は夏の暑さが酷いのも相まって、集客が落ち込んでいますが、事業者含めてやる気に変わりはないので、頑張っていきたいなと思っています。あとは、龍ヶ崎の方に、同じ施設がオープンして、そちらとお客様を分けているようなこともあると考えられ、集計等含めて、事業者と確認をしている状況です。

小林委員：各種実績の8ページ、国際会議についてなのですが、数字の読み方についてもう少し説明して頂きたいです。

国際会議は減っているが海外のお客さんは増えているかとか、国内会議に海外のお客さんが来ていると考えた方がいいのかとか最近の傾向も教えて頂けると助かります。それから、絶対数ではなくてパーセンテージで見せている理由も分からなかったので教えてください。

事務局：過去からの統計で、パーセンテージで見せていたので引き続きパーセンテージ表示したのですが、検証が足らずすみません。会議は過去よりも絶対数は減っています。つくば国際会議場はTX開通直後、非常に開催件数が多くなったのですが、その後は色々な開催地との取り合いで件数が落ち着いて、令和2年と3年はコロナ禍で大幅に減り、現在、件数的にはコロナ前の6割、7割ぐらいです。ただ、会議の絶対数の減り幅に比して国際会議の減りは穏やかで、参加者に占める海外の方の人数というのも、絶対数の人数が減っている割には海外からの参加者は減りが少ないです。日本人が対面で実施する会議はリモート会議が増えた影響で減少傾向ですが、海外から日本に来る必要がある

ような重要な会議は、需要が衰えていないのかなと分析していました。

小林委員：ありがとうございます。よく資料を見ると、例えば平成 26 年や 27 年などと比較して確かに国際会議の数は減っているのですが、海外からのお客さんはそんなに減っていません。海外からのお客様の多い国際会議が増えているような印象を持ちました。関連して忘れないうちにコメントさせて頂きたいのですが、2022 年に国際会議のアクセシビリティに携わっていた時、ハラル系のレストランが国際会議場の周囲にないことに気がつきました。これが結構問題で、アクセシビリティのページに案内が書けないです。学会会場でケータリングを頼む場合も、ハラル食をどこに頼めばいいのかが分かりませんでした。そのあたりが、都内で国際会議を開催するときと比べて難しい点です。イスラム系の海外のお客さんも結構な数いらっしゃると思いますので、ハラルに関して市のホームページなどで明示されていると助かります。

事務局：2019 年に G20 を開催した際も、その話は出まして、冷凍食品になってしまいますが、都内のお弁当を取り寄せて当日お配りするような対応をとっていました。その後、状況が変わっていないと思いますが、国際会議場含めて、お出しできる品は増やしていくべきだと思いますし、検討ていきたいと思っています。

小林委員：つくばのイスラムコミュニティーは結構しっかりしていて食材とかの提供は各家庭にいっているみたいなので、その辺うまく使うといいかなと思います。ありがとうございます。

岡本委員長：筑波大学の構内にもイスラムハラルのお店があります。海外の先生や学生さんをお呼びしたときとかは、よく利用させていただいているので、そういったところの連携も今後出てくるのかなと思いました。

岡本委員長：資料 2-1 の 11 ページのサイエンスツアについて、学生と一般の区分けになっているのですが、先ほどの御説明になりましたように一般団体の中に、海外のお客様が含まれているという認識で合ってますでしょうか。

事務局：はい、合っています。

岡本委員長：ありがとうございます。きっとその海外のお客様の中に学生が

いらっしゃるのかなと思っています。サイエンスツアーといふと、学生との親和性が高いと思うのですが、一般の方は他にどういった方が参加されているか、あとは学生の中でも比較的、新しく来られたところもあれば、継続して年間行事として捉えているところもあるので、その検証もしていけるといいのかなと思いながらお話を伺っていました。あと、議題(2)-2 の 2 ページも同じくサイエンスツアーについて実績が書かれていますが、海外 12.2%はどの国から来ているのか、それがいわゆる学生団体なのか一般団体なのかなど、そういった区分けの細かいところが見えてくると、今後の検討材料になってくるのかなと思いました。質問ではなくコメントですが以上です。

事務局：詳しくは再度サイエンスツアーオフィスに確認しますが、一般の中に含まれている海外の 12%のうち、大半が海外の大学や、研究者などの教育旅行的な意味合いの団体だったと思います。ありがとうございます。

菊池委員：訪日外国人についてなのですが、これから第 4 次の基本計画策定するにあたって、全体的な訪日外国人に対する観光施策の割合というか、どれぐらいを盛り込んでいくのかが、最初の段階で皆さんと共有できた方が、順調に進められるかなと思っています。第 3 次の計画を見させていただくと、2 項目にわたって着手するということは書いてあるのですが、具体的に海外の方についてのコメントとか数値については書かれていません。資料にも、どこの国、どこの方面、例えばアメリカなのかヨーロッパなのかというところまで書かれておりませんので、どの方面からどれくらいの割合でいらっしゃっているのかを、国際会議とサイエンスツアーの海外のお客様に関する数値から教えていただければと思います。

事務局：サイエンスツアーについては、もう一度オフィスに確認しますが、海外の 12%は 9 割方がアメリカだったと思います。国際会議場について、観光コンベンション協会様で分かれば教えてください。

貝塚委員：当観光協会から国際会議場へ派遣により勤務している者がいますので、確認してみます。

菊池委員：ありがとうございます。どの方面からいらっしゃるかによって、観光に割ける滞在時間ですか、滞在日数なども多分変わってくるので。基本計画の中に盛り込む強弱のポイント、強化すべ

き点というのはどのあたりなのか、今後私の方でもイメージしたいなと思ってお聞きしましたのでまた情報がありましたらぜひ教えていただければと思います。

富田委員：筑波山にあるフォレストアドベンチャーは、夏はどれくらい平地と気温が変わるのでしょうか。

事務局：温度に関しては、特段平地とは変わらない感覚です。木の木陰もあるのですが、風が通る日と通らない日によって暑さは違いますし、現地でミストシャワーを出すなど色々な対応はしていますが、全国的にもフォレストアドベンチャーは暑さも影響して利用者数が減っている傾向が出ています。

富田委員：ありがとうございます。これから4次を考える上で、夏をどうするかということがすごく大切だと思います。私、この7、8、9月はほとんど家にいて、外に出られず、外に出ようとすると、年寄りはやめなさいよ、水持って行きなさいみたいな感じになってしまって、そういう中でも若い人は来るのかなと思っていたのですが、この数字見ると少し減っているというので。夏対策がやっぱり大切なだろうなと思いました。

富田委員：あとハラルの話ですが、前職でメーカーに勤めていた際もすごく苦労して、認証マーク取るのにどここと契約してとか、年1回見に来てなどの条件があって、そういう苦労がなるべく緩和できるように、すでに持っているところの情報をうまく共有してあげるといいかなと思います。

岡本委員長：筑波大学には一軒ハラルのお店があって、昼間は大行列で、一般の僕らは諦めようという感じで食べられないんですけども、それぐらい人気はあるお店ですので、余力があるときにケータリングのサービスも多分可能なお店なのだろうなと思っています。僕が知る限り、ハラル専門のお店は、つくば市内であそこで、つくばの街中にも当然無いので、お困りなのだろうなとは思います。魅力としてプラスさせる部分なのか。受け入れ体制としてベーシックに持つべき機能として整理するのか、その辺は2年間の間に議論できればと思います。

フォレストアドベンチャー・つくばが微減なのは残念だなと思いますが、将来的には道の駅もできるので、そことどう連携させるか、シャトルバスを運行して子供たちをそこで遊ばせ

るというサービスもあるのかなと思いました。今度の第4次の計画でどこまで道の駅も含めて議論しておくべきなのか気になったところですがいかがでしょうか。

事務局：市でも道の駅に関しては候補地を1地区に絞るところまできまして、今後どういった形を展開していくのかを検討していくので、担当部署とも連携して情報共有をしながら、この会を進めていきたいと思っています。

(3) 第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証について

岡本委員長：ありがとうございます。

それでは、議題3に移りたいと思います。議題3の第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証について御説明をお願いします。

事務局：（説明）

岡本委員長：ありがとうございます。今の御報告についていかがでしょうか。

富田委員：令和6年度の実績のみ書かれていますが、それ以前の令和5年、4年の実績はとっているのでしょうか。

事務局：お配りした議題3の資料は、令和6年度だけ抜粋した資料になっています。別途お配りした20ページぐらいある冊子の本編版には、第3次の計画期間である令和4年から8年にかけて全部目標値が定められていてそれぞれの実績の推移をカウントしていますが、会議資料は、直近の令和6年度の実績だけ抜粋して表にしているような形になっております。

富田委員：確認ですが、1番の令和4年6件、令和5年6件、令和6年6件となっている実績値は、積み重ねということでいいでしょうか。だから今年の目標は、12-5で17件あるという見方でしょうか。

事務局：1-1は、分野を絞るという目標だったので、6件がマックスでそこから数を絞ろうとしていて、令和4年度と5年度の目標値が変わらないのは、この間に棚卸をして、令和6年度から、8年度にかけて5→4→3と数を減らそうとしているような目標値になります。逆に次のページ、1-2の「役立つ情報発信」ですと、SNSの情報発信になるので、令和6年度60件、年間でSNS発信するという目標に対し、X88件、インスタグラム22件というのが実績になっています。ほとんどが累計ではなく単年度

目標で、1年間でこれをやるという数値が目標値に記載されています。ただし、9ページの「広がる情報発信」の目標値で動画の再生回数というのがあるのですが、その動画の再生回数だけは累計で設定しています。動画は色々な情報媒体で流し始めると累計の数値になるので、これは累計で見ていますが、目標の設定によって累計だったり、1年度ずつの目標だったり、減ることが良い目標もあれば、増えることが良い目標もあり、それぞれになってしまいます。

富田委員：分かりました。よく前後を見て、目標と実績を見てくださいということですね。

事務局：情報量が多くて大変申し訳ないのですけれども、そのようになります。

小林委員：「役立つ情報発信」について聞きたいのですが、インスタグラムの投稿数が少し減ってきてているようです。累計実績値について令和4年度だと40件ぐらいでしたが、20件に減っているというように読みます。この辺りの原因は何でしょうか。私も含めてよく年齢が高いとインスタグラムが苦手ということも聞きます。ひょっとすると担当する観光推進課職員の年齢が影響しているのではないかでしょうか。支障がないようでしたら構いませんので、担当されてきた方の年齢と投稿数の関連などがあるようでしたらお教えください。

事務局：観光推進課職員の年齢は、毎年20代は少なくとも1人はいます。今年も観光振興係は4人で、20から40代で動いております。令和4年度の実績が多く、5年度と6年度が少し減ってしまっているのが、1つの大きなポスターなどを9分割して大きく載せるインスタグラムの手法があって、まつりつくばとかつくばフェスティバルなどの大きいイベントを9分割で投稿するのが好きな担当者がいたときがありました。そうすると1つのネタの投稿でも9投稿分のカウントになってしまって、多く見えているというのと、あと令和4年度、上郷でスタンプラリーを実施したのですが、そのスタンプラリーのスポットを、全店舗回ってインスタグラムに全て投稿したことがあり、施策的にもネタが多かった年でもあったことが関係しているかと思います。

小林委員：その反響とかリプライとかが多かったこととか、何か記憶はありますかね。

事務局：令和4年に、スタンプラリーのスポットになっている飲食店、隠れた名店などを紹介したときは、いいねがたくさんついています。一番、反響が大きかったのは、インスタグラムではないですが、令和5年に当時実施していた事業に関わるインフルエンサーの方にXのリポストをしてもらったとか、アニメのコンテンツをやるときに声優さんにリポストをしてもらった際が、いいね数は多かったです。

インスタグラムでいくと、直近は令和6年度の3月末に投稿した「つくばの桜の名所5選」という投稿を上手に行った職員が昨年度末いまして、その時に300いいねぐらいついていたと思います。それが多分、ここ数年では一番反響がよかった投稿になります。

小林委員：今思いついただけなのですが、このインスタグラムやXは、学術系の会議について発信してはいけないのでしょうか。観光系だけに絞るのではなく、学術系のものも積極的に発信しては如何でしょう。例えばインスタグラムを使って国際会議についてリアルタイムで「今開催しています」とか「開催10日前です」という情報を出すだけで、件数は爆発的に増えますよね。もちろん、そういうことをやってはいけないとか、この計画の中には入ってないとか、このアカウントでやるべきことではない、とかいう縛りがあれば出来ませんが。学術系の会議であっても観光や経済にフィードバックしている部分はあるので、アカウントとしても大義名分は立つかと思います。ただ、行政だからやり始めたら全部やらなければいけないということになると、作業が大変なのも理解できます。例えば、どこかに登録されている会議だけとかでも良いかもしれません。現場に行かなくても開催情報程度なら調べられるので、関連する画像と開催情報だけポストするということでも1件です。そういう地道な作業の積み重ねから国際会議を知ってもらうのも良いと思いました。

関連して、先日金沢の学会に行った時、駅に大きくデジタルサイネージで学会の案内が出ていて驚きました。例えばデジタルサイネージを市庁舎内に設置して、学術会議がこんなに行われていますよ、というのを順番に出すだけでも市民の印象が変わるものかもしれません。また、学術情報を新しいビジネスチャンスととらえる人が出てくるかもしれません。長くなりましたが、

インスタグラム利用について何か縛りがあるかどうか、お聞きしたいのでお願ひします。

事務局：特に、そういう内容の縛りはないのですが、観光推進課職員としては、インスタグラムは写真映えするもの、Xは情報を拡散して欲しいものというような頭でやっていたので、確かに会議の告知をインスタグラムでやろうという考えが全然ありませんでした。国際学術都市つくばをPRするという意味合いでは、本当に一理ある御意見だと思いましたので、今後検討していきます。

小林委員：よろしくお願ひします。

貝塚委員：当協会でもSNSの情報発信というのは非常に大事であると思っていまして、X、インスタグラム、フェイスブックにより、観光情報やイベント、グルメなどの情報を多く発信しています。事業としてはコンベンション誘致と開催支援も行っていますが、そういった情報は現在SNSで発信していません。今、小林委員からお話を伺いして、確かに、つくばでは国際会議などがたくさん行われていて、情報としては1つの魅力にはなると思います。今後、そういった情報発信も検討していきます。

また、情報発信する「中の人」という話が今ありましたけども、当協会では、つくば観光大使によるインスタグラムの情報発信もしていますが、大使6名は年齢が20代から30代ぐらいなので、非常に上手ですね。私達ができないような画像の加工や動画を入れたりとか、また、お子さんがいる方もいらっしゃって、お子さんが喜ぶ施設の紹介であるとか、内容も良いことからフォロワー数も伸びています。確かに情報発信する「中の人」が大事だなというのは痛感したところです。

別のアカウントにはなりますが、コンベンション関係についても、国際会議場をメインに開かれる学会などの情報も流していければと思っておりますので、よろしくお願ひします。

それから、先ほど菊池委員から、国際会議の外国からの参加者の状況はどうですかという話がありました。今コンベンション担当に確認したところ、主催者にアンケートをとったデータがあり、2024年度の状況を確認したところ中国、韓国、台湾からいらっしゃる方が8割ぐらいです。あとは会議の内容にもありますが、アメリカ・ドイツ・フランスからの参加者もいらっしゃいます。

それから先ほどハラル食の話がございまして、同じく担当に確認したところ、なかなか完全に対応できるところがないという現状で筑波大学のカフェが唯一で、関係者でも少し検討しなくてはいけないなという話はしているそうです。ビーガンとかベジタリアンについては対応できていますが、ハラル食については筑波大学のカフェ1店のみの対応というところを今確認しましたので報告しておきます。以上です。

菊池委員：アフターコンベンションの件ですが、私は学生時代に市の中心部に通学をしていましたが、当時はカピオや国際会議場がない環境で過ごしていました。Uターンでつくばに帰ってきて、コンベンション施設や大規模ホールがある環境に変わったものの、その恩恵というのはなかなか一般市民目線で言うと、イメージしづらいというのが実情かなというふうに思っておりました。このアフターコンベンションの施策として取り組んでいらっしゃる、具体的なエクスカーションの内容と、それが団体向けなのか、個人として周れるものを提案していらっしゃるのか、この2点についてお伺いしたいと思います。

事務局：エクスカーションの補助内容はバス代の補助です。市内の観光施設を1ヶ所以上巡るツアーのバス借り上げ代を上限10万円まで補助するという内容ですので、実質団体向けの補助になります。

菊池委員：場所は令和7年度が終わってみないと分からないですか。

事務局：そうです。

菊池委員：エクスカーションの行った場所について筑波山を提案しているとか、サイエンスツアーを提案しているとか、そういう具体的な内容は分からぬですか。

事務局：MICE補助金の申請団体へは提案をしています。また、先ほども言いましたけどG20等の大きな国の会議ですと、県が音頭をとったり市が介入するので携わっていますが、それ以外の民間主体の会議や大学研究機関が単独でやるような会議に関してはPRができていないのではないかなと思うのですが、貝塚委員、いかがですか。

貝塚委員：会議後のツアーや飲食などアフターコンベンションが、市に与える経済効果は大きいですから、非常に重要だと考えており、主催者の方に提案しているのですが、なかなか結びつかないの

が実状です。レセプションなどで和太鼓の演奏とか、日本の伝統芸能の披露とか、そういう御依頼はあるのですが、ツアーで例えば筑波山を案内しても実施に繋がっていない。宿泊も先ほどデータにもございましたけども、つくばはTX利用などで首都圏から近いものですから、首都圏のホテルに泊まる方も多く、文化的にも面白さが少し足りないというのが我々の課題だと感じています。実際に件数的には少ないので、これから力を入れてしっかりと対応していきたいと考えているところです。

菊池委員：団体で動かせる経済効果というのは、個人よりもかなり大きいと思いますので、それが市民にも分かりやすく、市から発信があれば、観光振興の1つの主軸としてもっと推していくける施策なのかなと思いますので、ぜひ、よろしくお願ひします。以上です。

岡本委員長：国際会議を運営している側からいうと、例えば会議が3日間あり、4日目はテクニカルツアーを、毎年やっています。2年に1回の国際会議ですけど、そこにサイエンスツアーグループを組み込めるかなとか、あるいは奥さんも一緒に連れていらっしゃる科学者の方が多いので、その人が会議の間の午後は、奥様たちだけでバスに乗っていくというのは、十分考え得る話で、会議場に運営者側が相談に行ったときに逆提案できるような体制ができると、運営者側も日程と会場とあわせて、プラスアルファでオプションツアーもあるので、家族の方も一緒にどうですかと言うふうに、レジストレーションのときに提案できるようなプロセスがあれば、もっと受け入れていただけるのではないか。多分やられていると思いますが、学会を主催する側だとそういう情報まであるとありがたいなと思います。

事務局：委員長がおっしゃる通りですが、つくば全体で見ると、ビジネスホテル系の部屋が多く、ファミリー層が泊まれるホテルが中心地区に少ないので、泊まれるホテルがどこにあるのかも含めて、いろいろ考えなくてはいけないというのも1つあるかと思います。

富田委員：TXが通って20年になりますが、会社的に言わせてもらうと、つくばの中心地だったら日帰りしようという感じになってしまふと思います。なので、国際会議場でやる会議は、その傾向が強いのかなと。さらにコロナの影響で在宅勤務になり、どんどん減ってしまうのですが、経済効果を考えると逃す手はない

思うであれば、第2の国際会議場を筑波山の麓に作るとか、そういうことまで大胆に考えないと、つくば市に泊まらなくなってしまうのかなという気はします。

(4) 第4次つくば市観光基本計画策定にむけたアンケート実施について

岡本委員長：議題4の御説明をお願いします。

事務局：（説明）

岡本委員長：ありがとうございます。たくさんありますが、多分この時間では議論しきれないので、皆さん宿題で事務局にコメントを返していただきたいのですが。

ホテル・旅館向けについては、観光推進課から事業者にアンケートを1回見せてもらってよろしいですか。本当に答えやすいかどうかこちらでは想像しきれないので。ひょっとしたらこういう答えの方が答えやすいのではというのが、現場の方々はそれなりにあるのではないかなと思います。例えば、インバウンドの取り組みについては、取り組みたいのは山々だけど、スタッフ教育、英語勉強させなきやいけないとなってしまうと、二の足を踏んでしまうという答えが返ってきたときに、それを選択肢に加えないとですよね。

現場に行って1回意見を伺ったものを、またフィードバックしてアンケートにしていただければと思うのが1つ。あと、観光客向けアンケートは、例えば旅館に泊まっている人のテーブルの上にQRコードを置いておくとそこでやってくれるとか。バスの中に観光客向けのQRコードが置いてあってもいいでしょう。先日、つくばの公共交通の調査もバスの中でのQRコード提示で、600人ぐらい答えてもらっていますので、割と反応はいいはずです。あとは、事業者が実はこういうデータ欲しいのだけれど、該当する調査データはないのかということも、この調査の中で、取っていただきたい。

先ほど富田委員が御指摘されたように、データをどのように取っているか、入込客数をどのように取っているのかというお話で、サイエンスシティとは思えない実状が分かりました。センサーをつけておけば、365日24時間通過する人数は、今カウントできるようになっているはずで、筑波山の入口にそれを入れておくと、本当は取れるのではと思いながら伺っていましたけど、サイエンスシティとの連携で色々なモニタリングができ

そうな気もします。

調査日については、11月は筑波山が一番忙しい時期なので調査をするタイミングとしていいかどうか、そこもプレ調査をしたときに、いつぐらいだったらいいか聞いてみるといいと思います。

1年間通しての態度とか情報をもらえばいいので、少し手が空いた12月ぐらいの調査の方がいいのかもしれません。そうするとアンケートの中身はもう少し練ることができますので。宿題で皆さんからアイディアをいただければと思いますが、この場でコメントしておきたいがあれば、皆さんからお願ひします。

小林委員：宿題になると忘れてしまうので今のうちにコメントしておきたいのですが、ホテル・旅館向けの1問目について、観光客と観光以外というのは、両方聞く必要があるのでしょうか。観光客が何割かということを調べたければ、観光客だけ聞けば良いのではと思いました。

事務局：そうですね。

小林委員：それから常識かもしれないのですけど、MICEとか、OTAとかの略語はその説明をどこかに書いておいても良いかと思います。また、「目立った強みはない」「目立った弱みはない」というのを複数選択のひとつにしておくのは良くないかもしれません。何もチェックが入れられてなければそう判断すれば良いわけですし、逆に回答者が間違ってチェックを入れてしまうと、その回答自体を捨てなくてはならないかもしれません。

例えば「筑波山」や「レジャー施設」にチェックが入っていて、同時に「目立った強みがない」にチェックが入っていたら、解析する時に悩みます。だから、「目立った強みがない」などの選択は無くても良いと思います。あとは、観光スポット、観光イベントという言葉が使われているので、4番目は「観光スポットと観光イベントに関する情報が少ない」というようにした方が、読んでいて回答しやすいと思いました。以上です。

小貫委員：細かなアンケート項目のところは、私も宿題の中で記載させていただければと思うのですが、冒頭の4つの対象は、これは決定ですか。それともこここの対象者についても、まだ検討の余地があるという理解でよろしいですか。

事務局：決定ではないので検討の余地はあります。

小貫委員：実際に、外国人の声を聞く場が不足しているというコメントもありましたので、市内に在住する外国人の方の声、お友達とか関係者の方の事情も、もしかしたら検討できるかもしれないんで、そういういたところを対象にするのかとか。あとは、やっぱり学生団体、教育団体は検討の余地があると思っていますので、学校関係者などのお声を聞く機会があってもいいのかなと思い、御質問させていただきました。以上です。

富田委員：アンケートの実施は、やはり数字が根拠になるので必要だと思いました。それから今回4次ということですが、これまでの1、2、3、4のように、この後5、6、7、8となっていくのはどうでしょうかね。4次で何か言葉とかサブタイトルみたいなものをつけると、観光は4次でどうしたいのか、次の5年間でどうしたらいいのかというのが、見えてくるのかなという気はしました。以上です。

岡本委員長：アンケートに限らず、第4次観光基本計画策定に向けて何かコメントしておきたいことがあります。

インバウンドの議論はしなくてはいけないのだろうと思います。東京ほど人材がいるわけではないので、市内の宿泊事業者一律にインバウンドを無理やりというのも難しいでしょう。ただ、おっしゃったように、留学生の家族が来ることはすごくいいマーケットだと思いますし、観光してくれるのだろうと思いますので、そういうところからインバウンドの戦略を練るというのも1つのアイディアですね。

もちろんMICEでいらっしゃる方々を、つくばあるいはつくば周辺に連れて行くというのも大事な取り組みかと思います。第4次という数字を気にはすると、やはり人数がどうこうよりは、一步観光に踏み込んで、例えば、リピーターを評価の項目に入れるということも、1段上がった観光マーケティングの意味では必要な指標かと思います。今日の統計データの中にはその類は出てきてないですが、取ろうと思えば多分取れると思うので。

例えば、国際会議場を使っている方で、2～3年に1回の周期で同じ団体が使うような場合がもしあれば、それもすごく重要なリピーターなのだろうというふうに思います。

いくつかそういう視点で見ていくと、また別の切り口のアイディアも出てこようかと思います。それと事務局の方でぜひ御議論いただきたいのはアクションプランで示されている指標が

果たして本当に適切な指標だったかという反省点の整理ですね。インスタグラムに写真を上げることが指標になってしまつていいのか、フォロー数の方が本来は必要な指標だったのではないかなど、結果的に紹介した場所の入り込み人数が増えることが最終目標であり、それが本来は評価指標になるべきだったのだろうと思いますので、入口で測るか出口で測るかの差かもしれませんけども、ぜひ十分、御議論いただいた上で4次の方に反映できればなと思いました。

今日が議論のスタートですので、ぜひ参考にしていただいて、次回につなげていただければと思います。

6 その他

岡本委員長：次第では、その他がありますが、事務局から何かござりますか。

事務局：特にはございません。

7 閉会

岡本委員長：それでは皆さん貴重な御意見、ありがとうございました。以上で司会の任を解かせていただいて進行を事務局に戻したいと思います。ありがとうございました。

事務局：岡本委員長、長時間の議事進行ありがとうございました。委員の皆様におかれましても長時間にわたり御協議いただきましてありがとうございます。今後につきましては、御説明した会議の進め方に沿って、皆様から本日いただいた御意見や後ほどいただくアンケートへの御意見などを、事務局の方で委員長と御相談させていただきながら、3次計画のアクションプランの修正及び4次の策定に向けたアンケートの実施や分析を行って参ります。

次回に関しましては、修正した第3次のアクションプランと4次の計画策定のアンケート分析結果をもとに議論することになるので、先ほど岡本委員長がおっしゃられたとおり、今回議論ができなかったアンケートに関して、後日改めて期日を定めた上で御協力いただければと思います。その上で4次の観光基本計画の骨子などの提案をさせていただく予定となっています。

また、次回の会議の開催につきまして一応候補日として令和8年2月24日(火)10時から、市役所で開催を考えていますが、

御都合はいかがでしょうか。

(異議なしの声あり)

事務局：今の段階で分かってなくとも途中大きな事業とか入ってしまうことも想定されますので、その時は随時、御連絡いただければと思います。それでは以上をもちまして第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証及び第4次つくば市観光基本計画策定委員会の第1回会議を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。

第3次つくば市観光基本計画アクションプラン中間検証及び
第4次つくば市観光基本計画策定委員会 第1回会議次第

日 時 令和7年(2025年)9月29日(月)

午前10時00分から

場 所 つくば市役所 本庁舎 会議室202

1 開 会

2 次長挨拶

3 会長の選任

4 自己紹介

5 議 題

- (1) 第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について
- (2) つくば市観光に係る各種実績・考慮すべき視点について
- (3) 第3次つくば市観光基本計画アクションプラン 中間検証
会議当日は、アクションプラン進捗状況(概況)を見ながら、見直しが必要な点を議論します。
- (4) 第4次つくば市観光基本計画策定にむけたアンケート実施について
会議当日は、アンケート実施案、アンケート項目案を見ながら、アンケート実施内容について議論します。

6 その他の事項

7 閉 会

【送付資料】

- ・第3次つくば市観光基本計画(冊子)
- ・第3次つくば市観光基本計画アクションプラン(冊子)
- ・議題(1)～(4)の資料
- ・(参考)第3次つくば市観光基本計画中間検証会議設置要項
- ・(参考)第3次つくば市観光基本計画第1回中間検証会議委員名簿

【持参いただくもの】

- 送付資料 駐車券(会場にて無料化します。)
- 振込先口座申出書(市の会議に過去参加したことがあり登録済の方は不要です。)

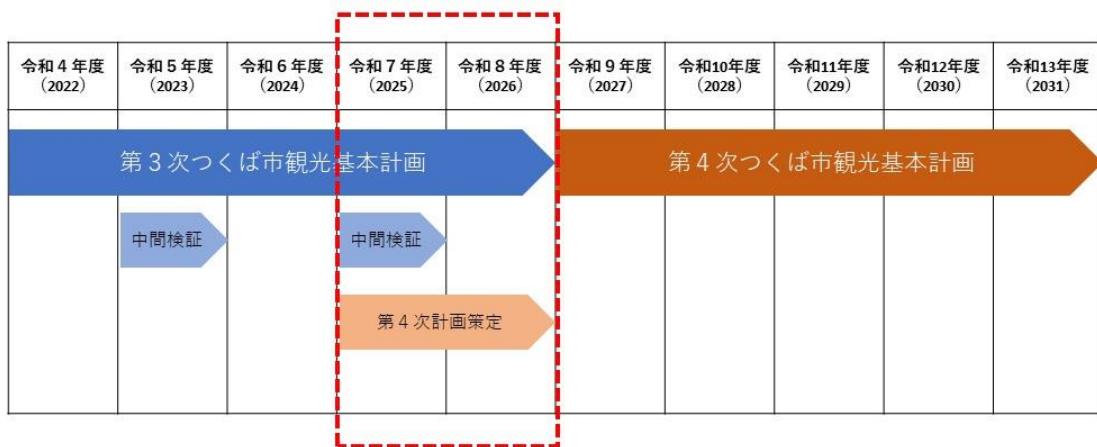
第3次つくば市観光基本計画中間検証と第4次つくば市観光基本計画策定の進め方について

1 目的

令和4年4月に策定した「第3次つくば市観光基本計画」に紐づくアクションプランについて、事業の進捗状況を評価・検証し、必要に応じて見直しを行います。

また、多様な角度から近年の社会情勢の変化を分析し、令和9年度から令和13年度の計画を定める「第4次つくば市観光基本計画」の策定を行います。

今回の委員会議期間



2 スケジュールと議事事項（予定）

第1回会議 令和7年9月 29日（月）	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">つくば市の観光に関する統計、実績の説明。第3次観光基本計画アクションプランの実績報告をし、目標設定の修正案等を提示。第4次観光基本計画策定にむけて基礎資料となるアンケート実施案を提示。 【委員の皆様】 <ul style="list-style-type: none">事務局の資料、提案について適宜討議。
	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">委員の皆様の意見を各資料に反映。第4次観光基本計画策定用アンケートを実施。（10月下旬～11月末頃予定）アンケートの集計、分析。（12月頃）アンケート結果、各種統計資料等から計画の骨子案を作成。
第2回会議 令和8年2月	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">第3次観光基本計画アクションの修正案提示。

議題(1)

24日(火)予定	<ul style="list-style-type: none">・第4次観光基本計画策定用アンケート結果提示。・第4次観光基本計画の骨子案提示。 【委員の皆様】・事務局の資料、提案について適宜討議。
	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・委員の皆様の意見を各資料に反映。・骨子案に紐づく方針等計画の本編を作成。
第3回会議 令和8年6月頃	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・第4次観光基本計画素案を提示。 【委員の皆様】 <ul style="list-style-type: none">・事務局の資料、提案について適宜討議。
	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・意見に基づき、第4次観光基本計画素案を修正。
第4回会議 令和8年10月頃	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・修正後の第4次観光基本計画素案を提示。 【委員の皆様】 <ul style="list-style-type: none">・事務局の資料、提案について適宜討議。
	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・パブリックコメント実施。 ※市民に素案を公開して、広く意見を募ること。・パブリックコメントを踏まえ、計画案を修正。
第5回会議 令和9年2月頃	【事務局】 <ul style="list-style-type: none">・パブリックコメントの結果を共有。・パブリックコメントを踏まえて修正した計画案を提示。 【委員の皆様】 <ul style="list-style-type: none">・事務局の資料、提案について適宜討議。
令和9年3月	第4次観光基本計画策定完了 公表

※適宜、事務局から市執行部へも経過報告をし、市執行部の意見も取り入れます。

※進捗によって会議の回数が増減する可能性があります。

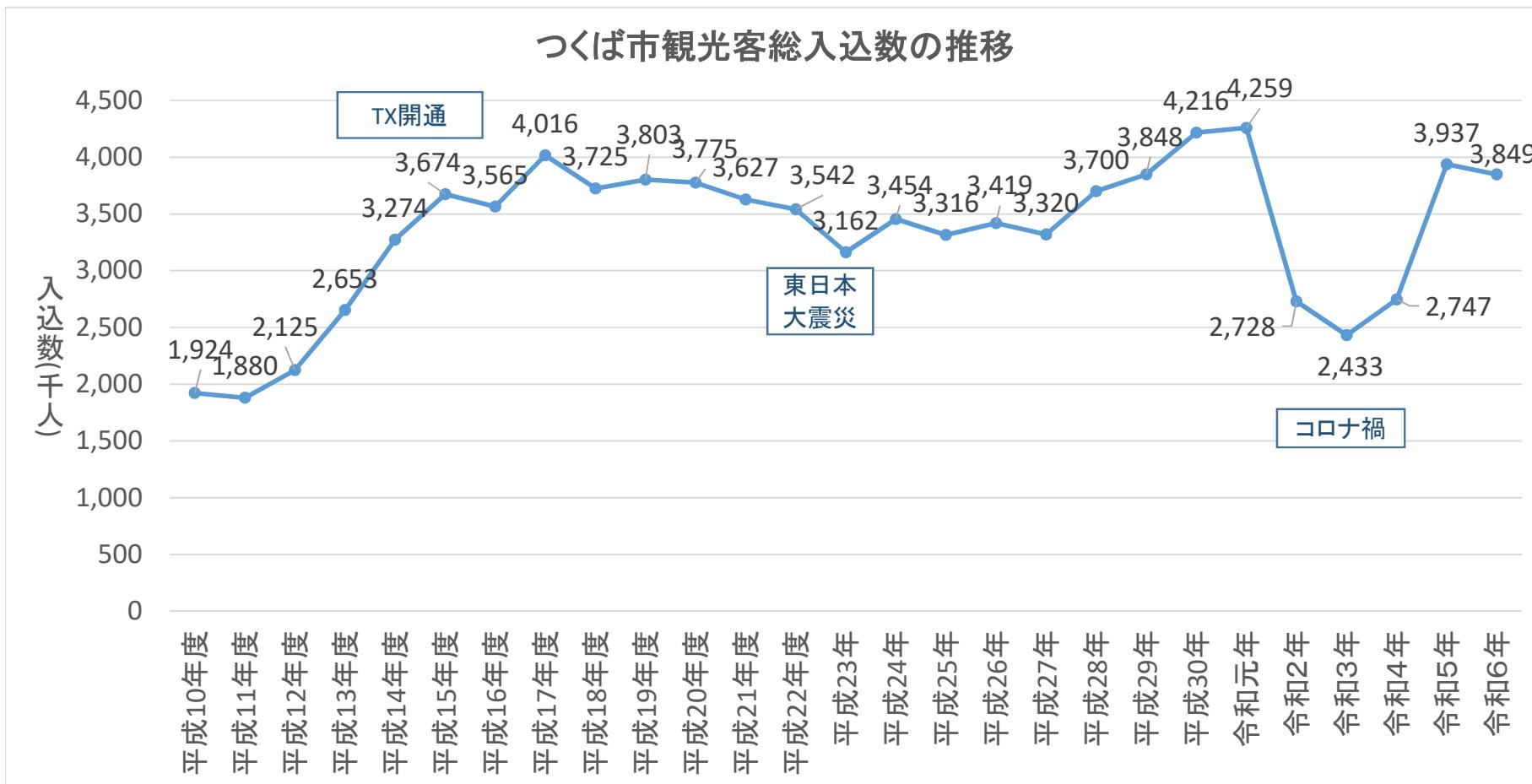
議題(2)-1

つくば市観光に係る各種実績

目次	ページ数
○観光客入込数.....	1
○筑波山市営駐車場利用台数.....	3
○筑波山きっぷ(筑波山あるきっぷ)販売数.....	4
○筑波山シャトル乗車実績.....	5
○フォレストアドベンチャーツクバ利用人数.....	6
○レンタサイクル利用台数.....	7
○MICE(学術会議開催件数、参加人数).....	8
○サイエンスツアー(受入数、バス利用者数).....	10
○アニメコンテンツツーリズム.....	12

観光客入込数①

令和5年に新型コロナウイルス感染症が5類になったことで、入込客数はV字回復を果たしたが、主要研究機関の展示室工事があり、令和6年は前年より微減している。

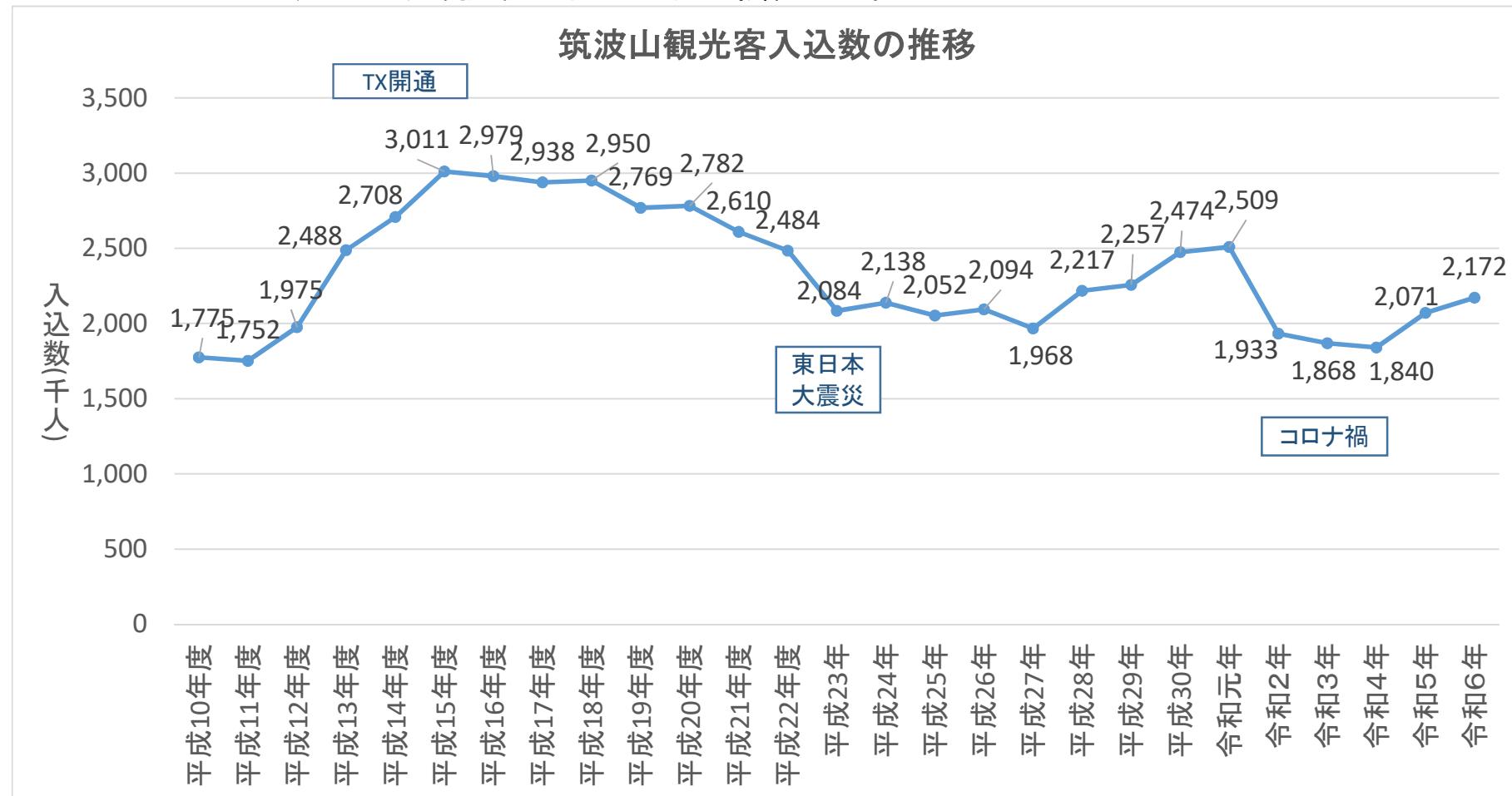


総入込数(千人)※平成23年度からは「年」集計に変更

平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1,924	1,880	2,125	2,653	3,274	3,674	3,565	4,016	3,725	3,803	3,775
平成21年度	平成22年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
3,627	3,542	3,162	3,454	3,316	3,419	3,320	3,700	3,848	4,216	4,259
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年						
2,728	2,433	2,747	3,937	3,849						

観光客入込数②

オープンエアの筑波山観光は市全体の入込客数に比べるとコロナ禍の下げ幅が少ないが、令和5年以降の回復幅も低調。コロナ明け、旅行先が分散されたこと、令和6年は梅まつりが悪天候で客足が伸びなかつたこと、がまつりが荒天中止となつたことなどが影響している。

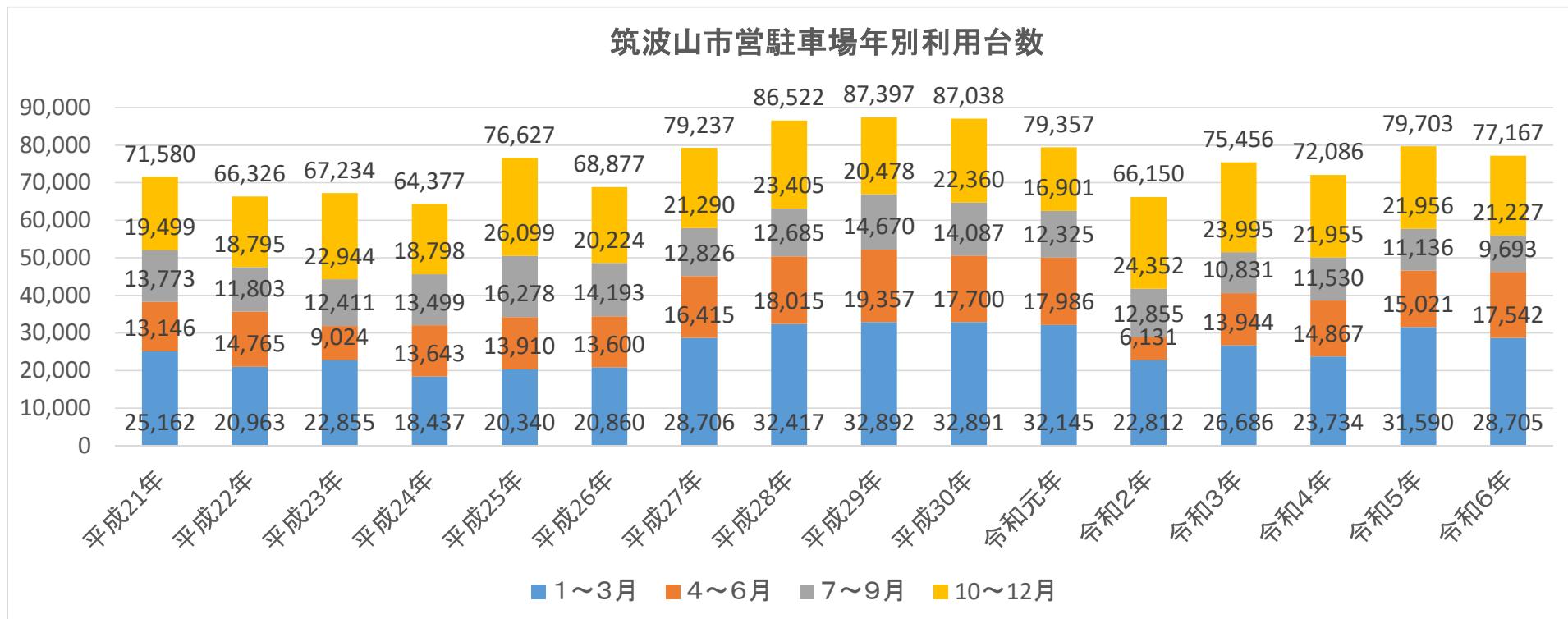


総入込数(千人)※平成23年度からは「年」集計に変更

平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
1,775	1,752	1,975	2,488	2,708	3,011	2,979	2,938	2,950	2,769	2,782
平成21年度	平成22年度	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
2,610	2,484	2,084	2,138	2,052	2,094	1,968	2,217	2,257	2,474	2,509
令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年						
1,933	1,868	1,840	2,071	2,172						

筑波山市営駐車場

筑波山中腹にある市営第1、3、4駐車場は、令和5年にコロナ前の水準まで戻ったが、令和6年は、梅まつり期間や秋の行楽シーズンの天候不順、夏の酷暑等が影響し、前年比微減となっている。

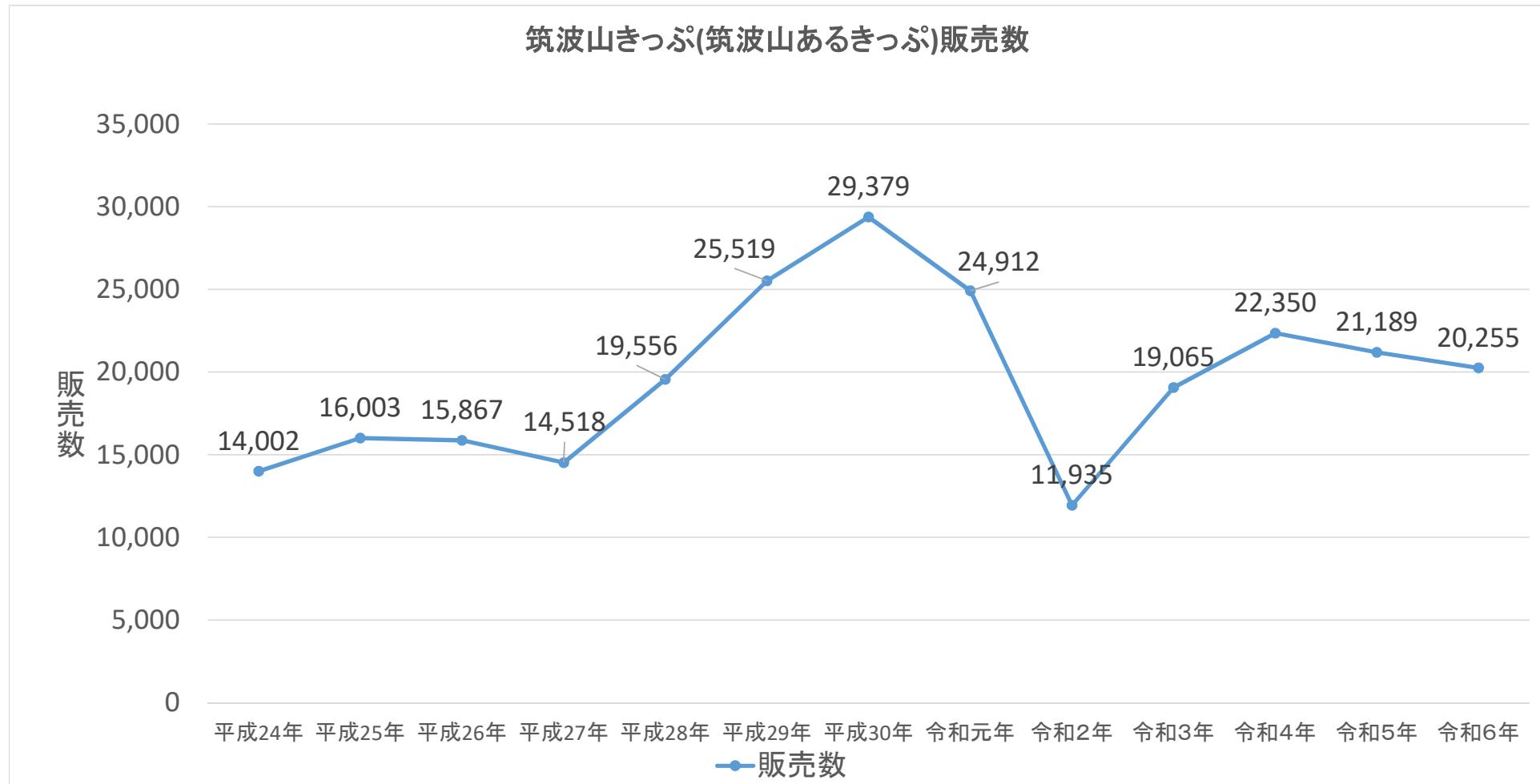


筑波山市営駐車場(台)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
1~3月	25,162	20,963	22,855	18,437	20,340	20,860	28,706	32,417	32,892	32,891	32,145	22,812	26,686	23,734	31,590	28,705
4~6月	13,146	14,765	9,024	13,643	13,910	13,600	16,415	18,015	19,357	17,700	17,986	6,131	13,944	14,867	15,021	17,542
7~9月	13,773	11,803	12,411	13,499	16,278	14,193	12,826	12,685	14,670	14,087	12,325	12,855	10,831	11,530	11,136	9,693
10~12月	19,499	18,795	22,944	18,798	26,099	20,224	21,290	23,405	20,478	22,360	16,901	24,352	23,995	21,955	21,956	21,227
合計	71,580	66,326	67,234	64,377	76,627	68,877	79,237	86,522	87,397	87,038	79,357	66,150	75,456	72,086	79,703	77,167

筑波山きっぷ

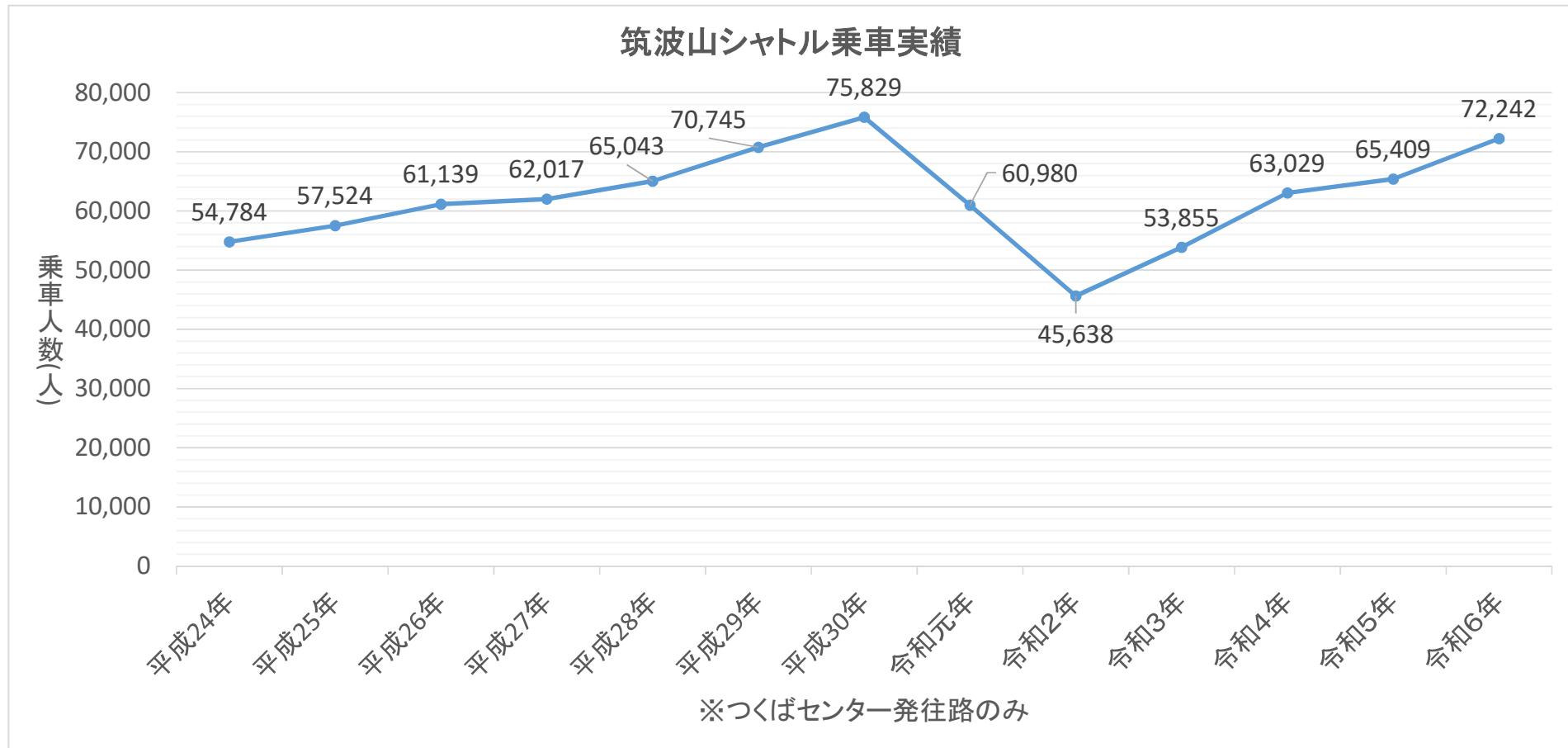
コロナ後、販売枚数を回復していたが、ゴールデンウィークや秋の行楽シーズンの週末、道路渋滞によりバスが定時運行できないことを見込んで、セット切符の販売を中止する措置を取った日があることから、販売数は微減に転じている。
(販売中止した週末:R5年秋1回、R6年GW、秋1回)



年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
販売数	14,002	16,003	15,867	14,518	19,556	25,519	29,379	24,912	11,935	19,065	22,350	21,189	20,255

※平成28年より、筑波山あるきっぷの販売実績を含む。

筑波山シャトル コロナ禍で落ち込んだ乗車数が、令和6年はコロナ以前の水準に戻りつつある。

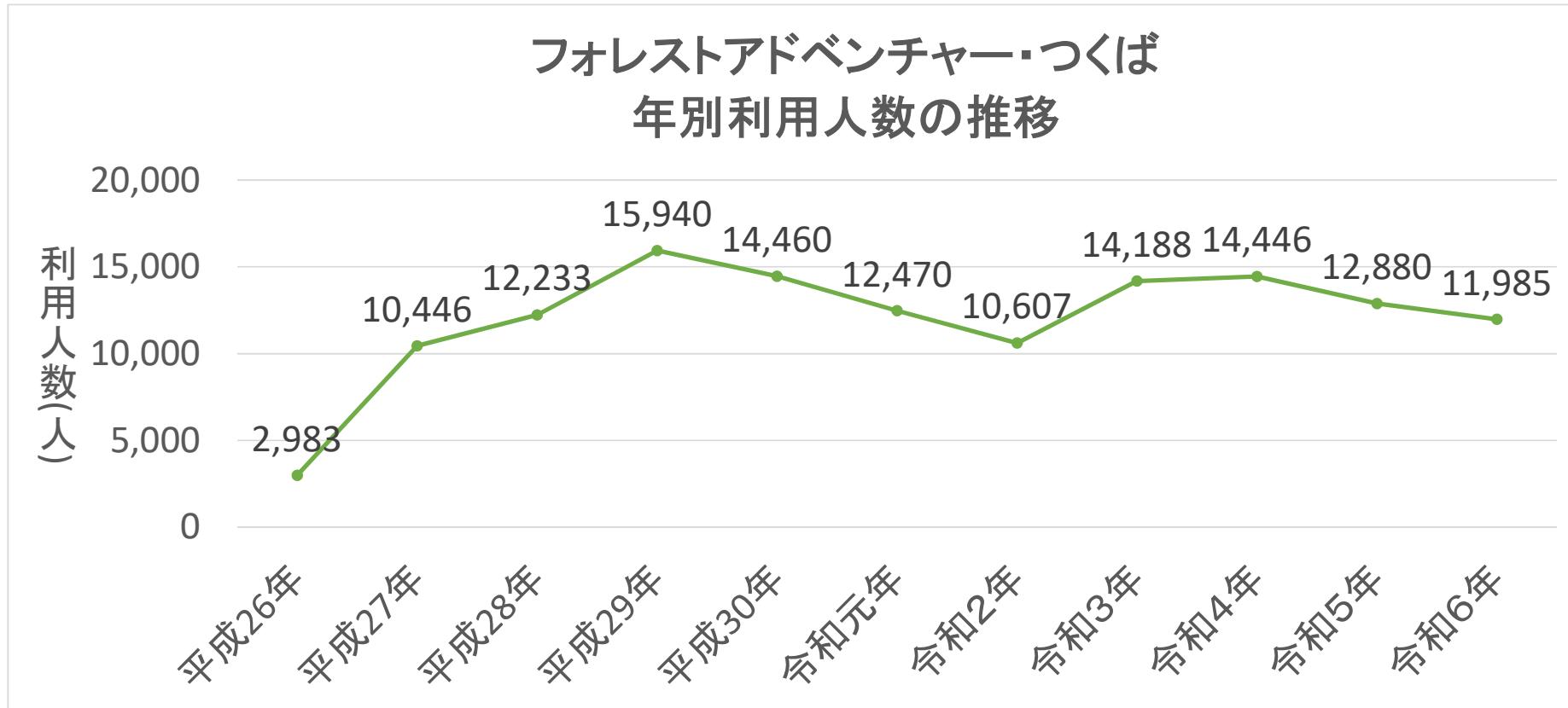


乗車実績(人)

年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
乗車人数	54,784	57,524	61,139	62,017	65,043	70,745	75,829	60,980	45,638	53,855	63,029	65,409	72,242

森林体験パーク
(フォレストアドベンチャー・つくば)

コロナ禍のアウトドアブームに乗り、令和3年、4年は好調だったが、ブームが落ち着き、アフターコロナで観光先が分散したことで、令和5年、6年は減少傾向。全国のフォレストアドベンチャーが同様の傾向を辿っている。



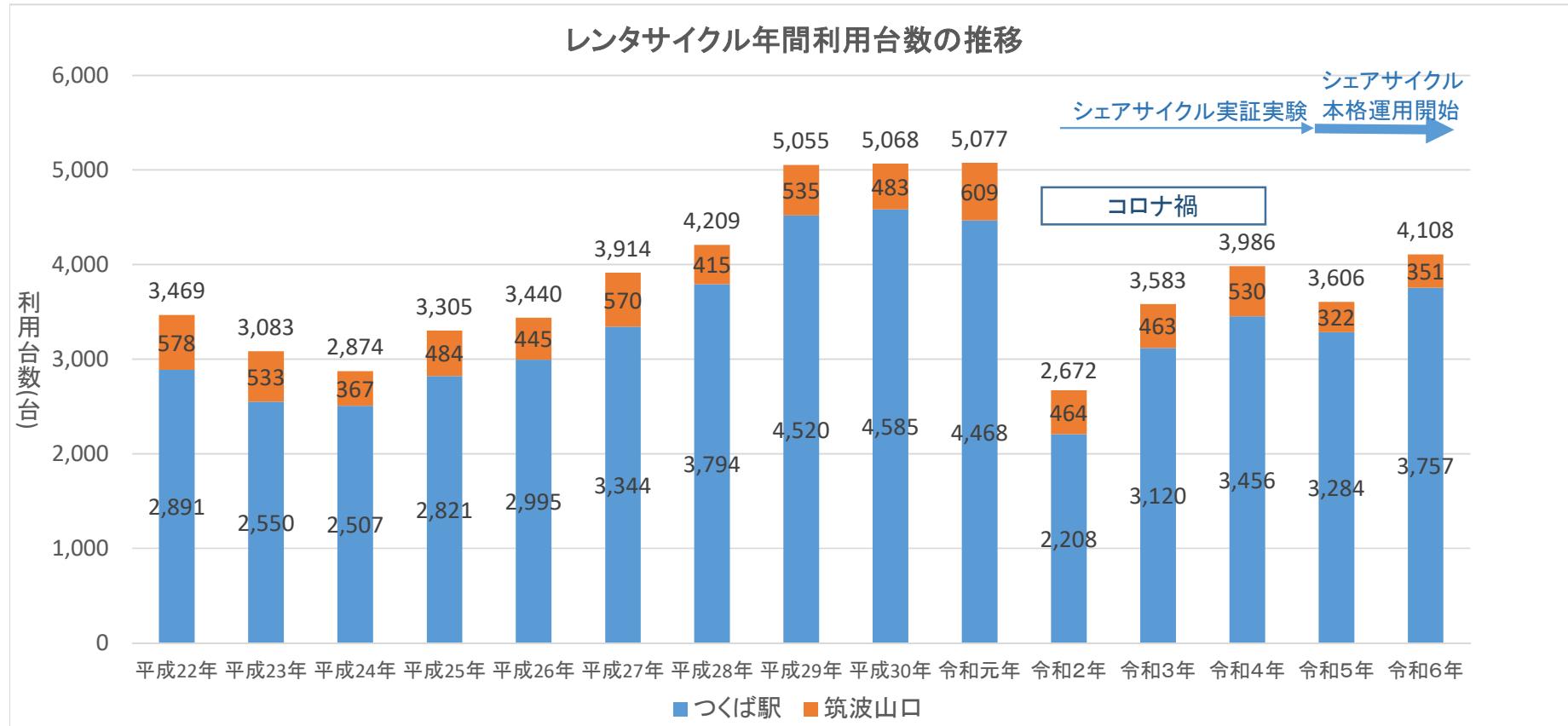
年別利用人数推移(人)

年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
合計	2,983	10,446	12,233	15,940	14,460	12,470	10,607	14,188	14,446	12,880	11,985

※平成26年7月オープン

レンタサイクル事業

つくば駅のレンタサイクルは一定の需要を示しているが、短距離移動に便利なシェアサイクル「つくチャリ」が定着し始めるなど選択肢が増えているため、コロナ前の利用台数には至らない。筑波山口のレンタサイクルは、認知度が上がらず、低調な利用台数となっている。



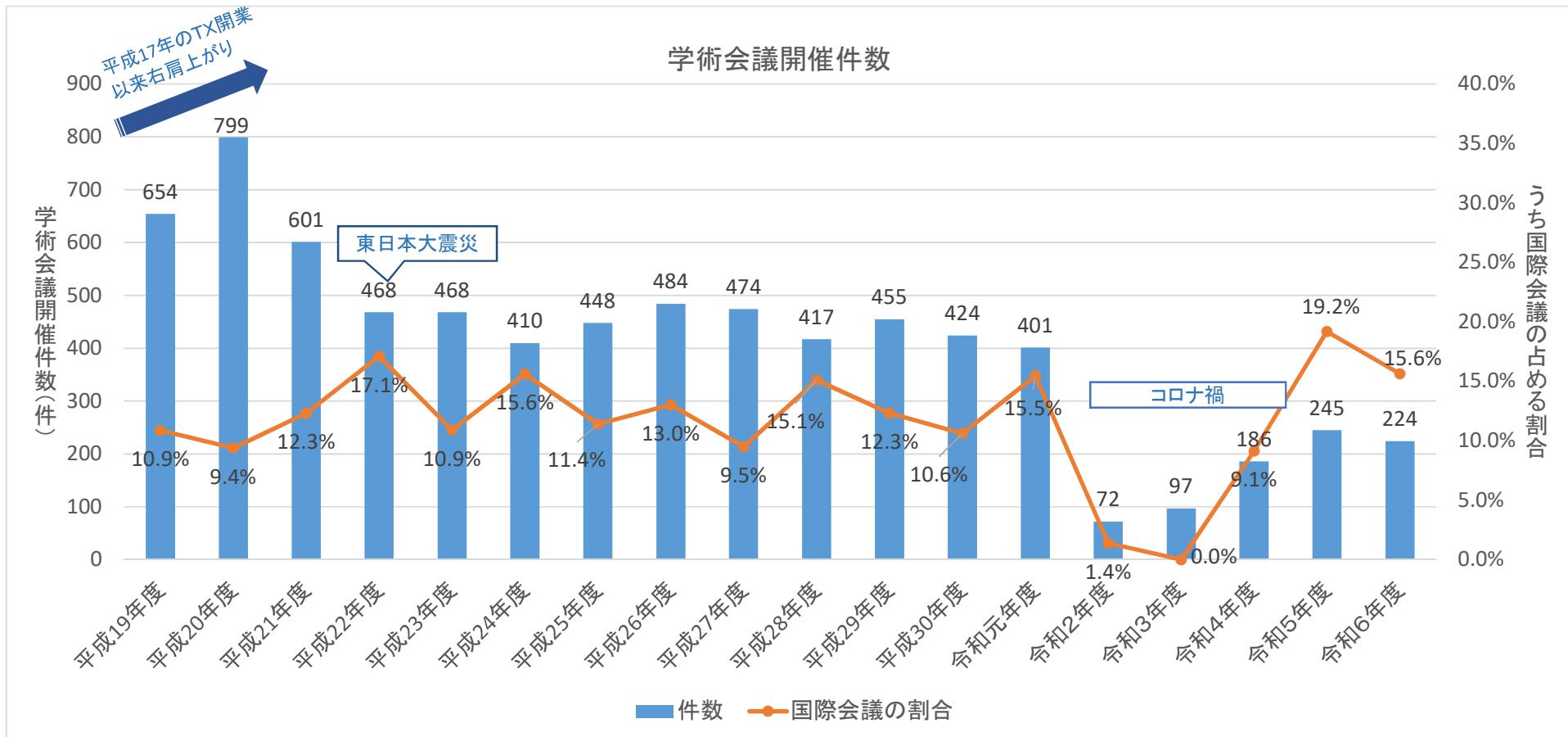
レンタサイクル年間利用台数(台)

年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
つくば駅	2,891	2,550	2,507	2,821	2,995	3,344	3,794	4,520	4,585	4,468	2,208	3,120	3,456	3,284	3,757
筑波山口	578	533	367	484	445	570	415	535	483	609	464	463	530	322	351
合計	3,469	3,083	2,874	3,305	3,440	3,914	4,209	5,055	5,068	5,077	2,672	3,583	3,986	3,606	4,108

※筑波山口では平成29年度(2018年度)まで1~3月および12月は貸し出し休止

MICE①

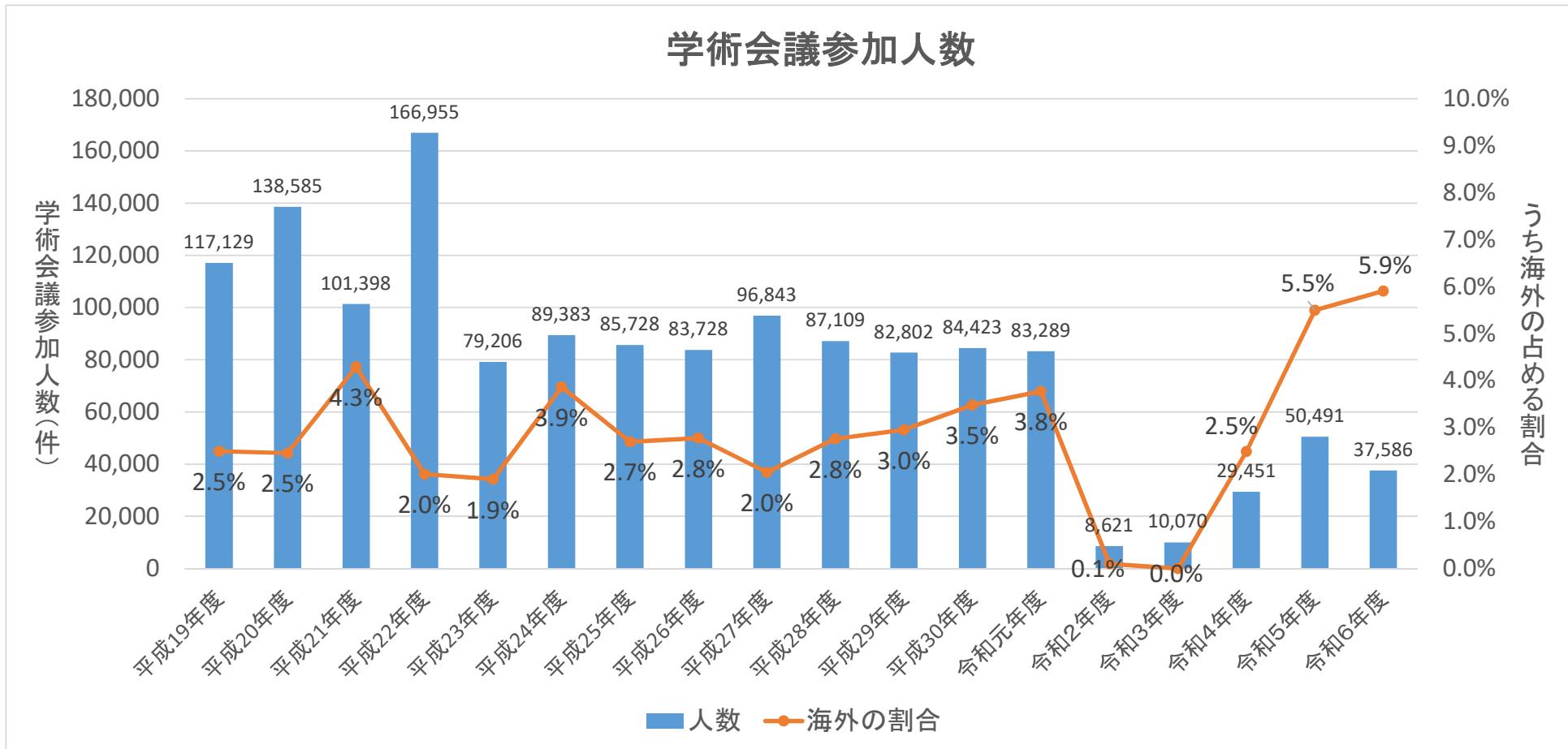
学術会議の開催件数は、コロナ禍を経て、リモート会議等開催手法が多様化したため開催総数は減っているが、国際会議の開催割合はコロナ前の水準まで回復している。



学術会議開催件数

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
件数	654	799	601	468	468	410	448	484	474	417	455	424	401	72	97	186	245	224
うち国際会議数	71	75	74	80	51	64	51	63	45	63	56	45	62	1	0	17	47	35
国際会議の割合	10.9%	9.4%	12.3%	17.1%	10.9%	15.6%	11.4%	13.0%	9.5%	15.1%	12.3%	10.6%	15.5%	1.4%	0.0%	9.1%	19.2%	15.6%

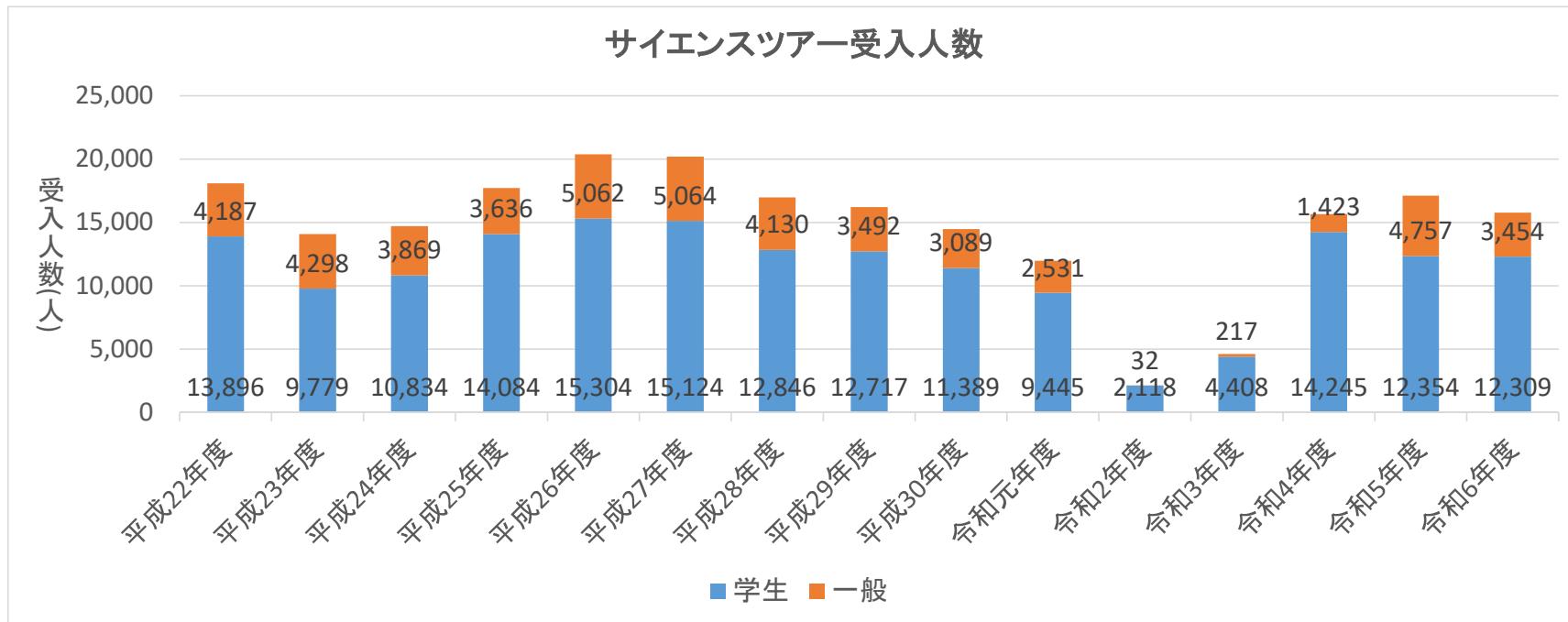
学術会議参加人数は、コロナ後、日本人の参加者数は減っているが、海外からの参加者がコロナ前と同等数あり、市内に多くの外国人がビジネスで来訪していることが分かる。



学術会議参加人数

年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人数	117,129	138,585	101,398	166,955	79,206	89,383	85,728	83,728	96,843	87,109	82,802	84,423	83,289	8,621	10,070	29,451	50,491	37,586
うち海外	2,924	3,407	4,352	3,357	1,504	3,454	2,315	2,327	1,984	2,407	2,447	2,937	3,139	4	0	733	2,777	2,221
海外の割合	2.5%	2.5%	4.3%	2.0%	1.9%	3.9%	2.7%	2.8%	2.0%	2.8%	3.0%	3.5%	3.8%	0.1%	0.0%	2.5%	5.5%	5.9%

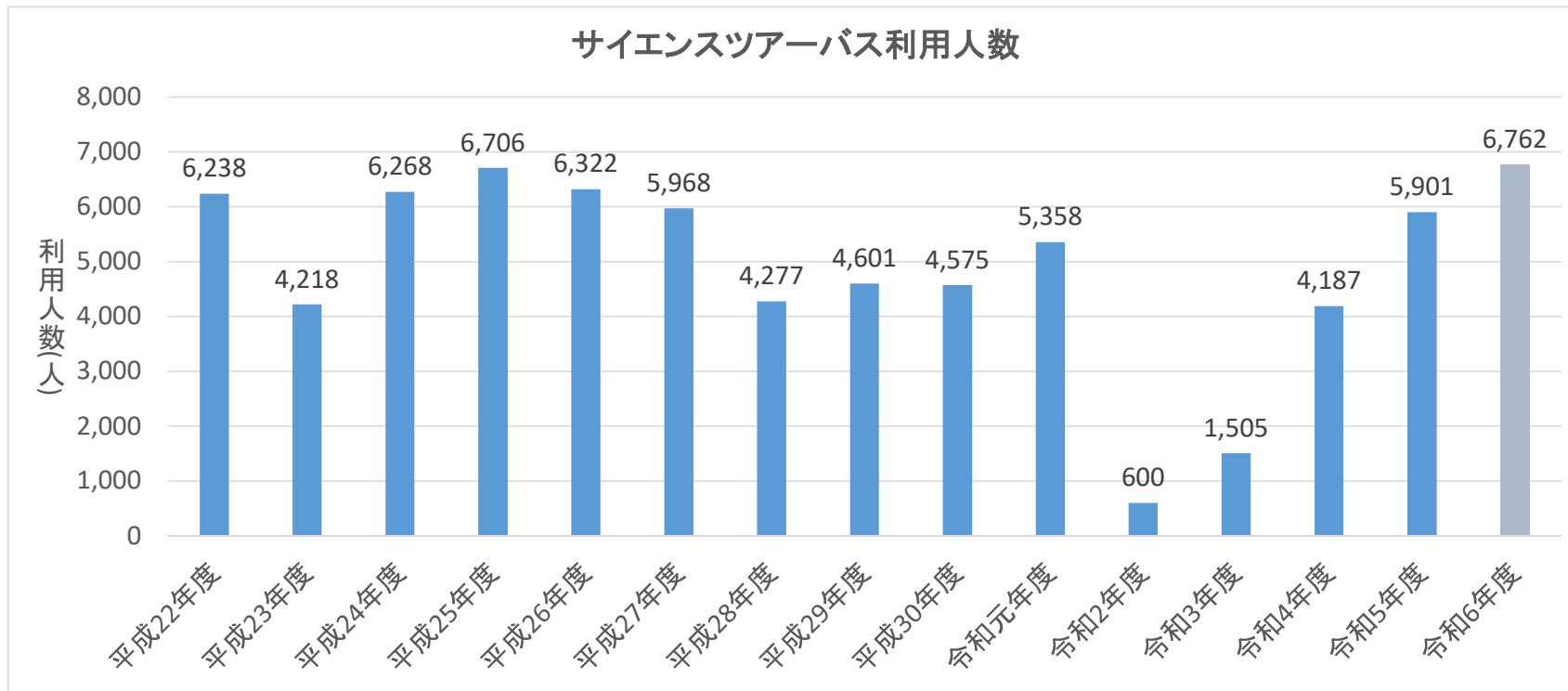
サイエンスツアーアイテム① サイエンスツアーアイテム①は、サイエンスツアーアイテム①受入人数は、コロナ後、特に一般団体の伸びが良く、特にR6年度約2,000人を受け入れている海外からの団体客が、実績を牽引している。



サイエンスツアーアイテム①受入人数(人)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
学生	13,896	9,779	10,834	14,084	15,304	15,124	12,846	12,717	11,389	9,445	2,118	4,408	14,245	12,354	12,309
一般	4,187	4,298	3,869	3,636	5,062	5,064	4,130	3,492	3,089	2,531	32	217	1,423	4,757	3,454
合計	18,083	14,077	14,703	17,720	20,366	20,188	16,976	16,209	14,478	11,976	2,150	4,625	15,668	17,111	15,763

コロナ後順調に利用者数が回復していたが、令和6年4月より1日乗車券が廃止され、ダイヤも減便となった。1日乗車
サイエンスツアーバス利用者数がカウントできないことから、令和6年度から乗降者数でカウントしていることから、実質は大幅減である
と推測される。



サイエンスツアーバス利用人数(人)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用人数	6,238	4,218	6,268	6,706	6,322	5,968	4,277	4,601	4,575	5,358	600	1,505	4,187	5,901	6,762

※令和6年4月より1日乗車券が廃止となつたため、令和5年度までは1日乗車券販売人数、令和6年度からはバス乗降数でカウント。

※令和6年度のダイヤ改正により1日12便から9便へ。

アニメコンテンツ
ツーリズム

令和5年度茨城県インバウンドコンテンツ造成支援事業を活用して整備したアニメコンテンツ観光PR拠点(つくばジオミュージアム2階)を軸として、市内にサテライトスタジオを有する世界的アニメ制作会社WIT STUDIOの作品を使ったアニメツーリズムを推進している。

【令和5年度～令和6年度事業概要】

「SPY×FAMILY inつくば どきどきだいさくせんっ！」開催

事業期間 令和5年12月13日から令和7年2月28日まで

(茨城県の補助事業を原資に、つくば観光コンベンション協会が運営。市は企画協力。)

①アニメ制作ワークショップ WIT STUDIOのアニメーターを講師に招き、実際に使われた原画を見本に、線画トレース作業を体験。

	令和5年度	令和6年度
開催日数	2回	2回
参加者数	90人	87人

②体験型謎解きゲーム つくばジオミュージアムの展示スペースに隠された暗号を集め「機密文書」を発見するとオリジナル特典がもらえる体験型ゲーム

参加者数	8,300人
------	--------

③企画展 TVアニメ「SPY×FAMILY」の制作過程資料の展示や、書下ろしイラストのフォトスポット設置。

④オリジナルグッズ＆フードの販売

フード売上	2,522,986円
グッズ売上	5,409,908円

⑤つくば周遊ボイスラリー実施

参加者数	364人
------	------

○考慮すべき視点

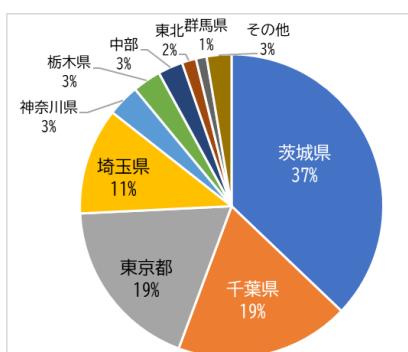
(1) つくば市に来訪する観光客の居住先

どこから観光客が来訪しているか、筑波山で実施する各種調査やアンケートは、ほぼ同じ傾向が出ており、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都の4都県からの来訪が8割以上となっている。

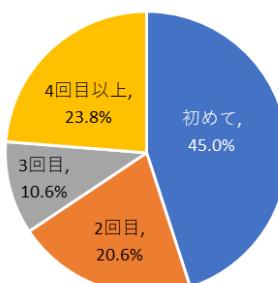
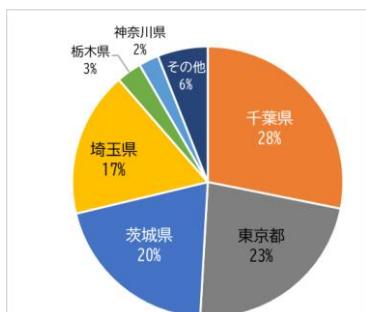
サイエンスツアーやイベントに参加する参加者層をみると、イベント参加者は県内が8割以上だが、教育旅行・研修等で来訪する参加者は全国から来訪しており、サイエンスシティが教育旅行と親和性が高いことが読み取れる。海外からの来訪者が12%あることも特徴である。

【筑波山での調査】

R5 茨城県パラメータ調査より（茨城県が県内の観光スポットで実施する来訪者アンケート）



R5GW筑波山来訪者アンケートより



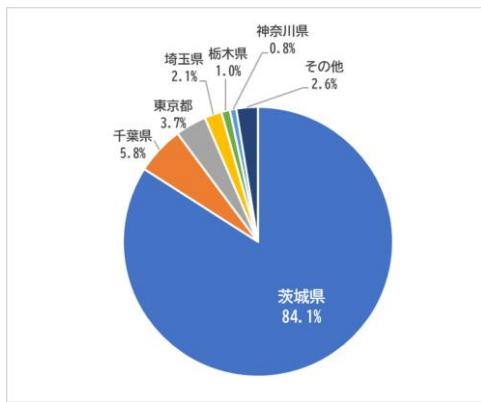
筑波山のあと、どこか別の場所に寄るか？

→寄る 81人 寄らない 81人

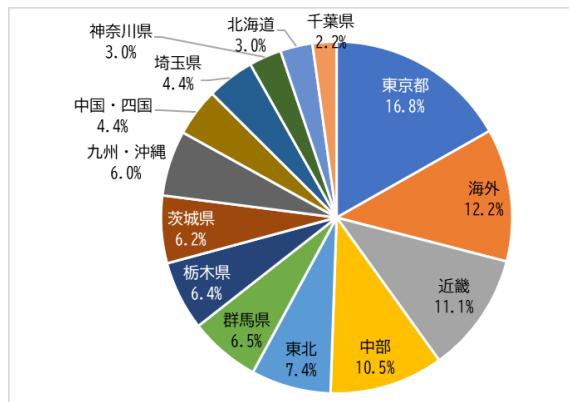
観光メインの人	
わんわんランド	4
温泉	4
道の駅	4
飲食店	4
JAXA	2
エキスポセンター	2
フラワーパーク	2

登山メインの人	
温泉	15
食事処	2

[サイエンスツアーオの実績]



R6年サイエンスツアーサマーブレイブイベント実績より



R6年サイエンスツアーサマーブレイブイベント実績より
(一般、学校団体合算)

(2) 宿泊観光の現状

筑波山の来訪者の8割が占める首都圏からとなっている。首都圏は日帰り圏内であることから、県全体の入込客数に占める宿泊者は17.9%に留まる。しかし、同様の立地条件にある北関東で比較すると、栃木県、群馬県より宿泊率が良いことがわかる。茨城県の特徴として、宿泊者のうち6.6割が「ビジネス兼観光」で来訪しており、「観光目的」の宿泊者を上回っていることが挙げられる。

つくば市のMICE補助金交付団体の実績をみると、会議参加者の約3割が市内宿泊をしている。

群馬県	16.3%	(令和5年観光入込客統計調査報告書より)												
栃木県	9.2%	(令和6年栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果より)												
茨城県	17.9%	(令和6年茨城県観光客動態調査より)												
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>宿泊</th> <th>日帰り</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>観光目的</td><td>2,277千人</td><td>29,328千人</td></tr> <tr><td>ビジネス兼観光</td><td>4,498千人</td><td>1,664千人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>6,776千人</td><td>30,991千人</td></tr> </tbody> </table>		宿泊	日帰り	観光目的	2,277千人	29,328千人	ビジネス兼観光	4,498千人	1,664千人	合計	6,776千人	30,991千人
	宿泊	日帰り												
観光目的	2,277千人	29,328千人												
ビジネス兼観光	4,498千人	1,664千人												
合計	6,776千人	30,991千人												
つくば市（筑波山）	13.26%	(令和5年茨城県パラメータ調査、調査地点「筑波山」より)												
つくば市（MICE）	29.2%	(令和6年度つくば市開催支援補助金交付実績より)												

(3) インバウンドの現状

茨城県及び茨城県南部の訪日外国人割合は、全体の約4%に留まる。筑波山観光案内所へ来訪する外国人の割合も同程度である。

一方で、MICEのうち国際会議の実績からみる海外参加者の構成比は約6%、また、市内在住外国人は約1.3万人おり、外国人のビジネス来訪や在住者が多いことが特徴的である。ビジネス来訪の外国人に市内観光をPRしたり、在住外国人に母国に向けてつくば市の魅力を発信してもらうことは、つくば市のインバウンド戦略において有効な手立てだと考えられる。

観光庁 R6年宿泊旅行統計 調査より	茨城県	延べ宿泊者数	7,270,000人	
		うち訪日外国人宿泊者数	277,530人	
		構成比	3.8%	
観光案内所への 外国人来訪者数 (R 6年度実績)	南部 茨城県 西部	延べ宿泊者数	2,521,480人	
		うち訪日外国人宿泊者数	99,580人	
		構成比	3.9%	
つくば駅前観光案内所 筑波山観光案内所		来館者数	うち外国人	構成比
		39,211人	3,715人	9.4%
		49,854人	2,410人	4.8%
※つくば駅前観光案内所は、立地柄、在住外国人からの問合せも多い。				
つくば市内 MICE開催実績より		国際会議件数	参加者数	うち海外参加者数 海外参加者構成比
		R5年度	47件	50,491人 2,777人 5.5%
		R6年度	35件	37,586人 2,221人 5.9%

【参考】市内在住外国人

在住外国人 全体	145か国 13,623人 (市民に占める割合5.2%) ※日本全人口に占める外国人の割合約2.2% (2020年国勢調査より) (1位中国、2位ベトナム、3位インド、4位韓国)
筑波大学留学生	120か国 2,509人 (1位中国、2位インドネシア、3位韓国、4位台湾)

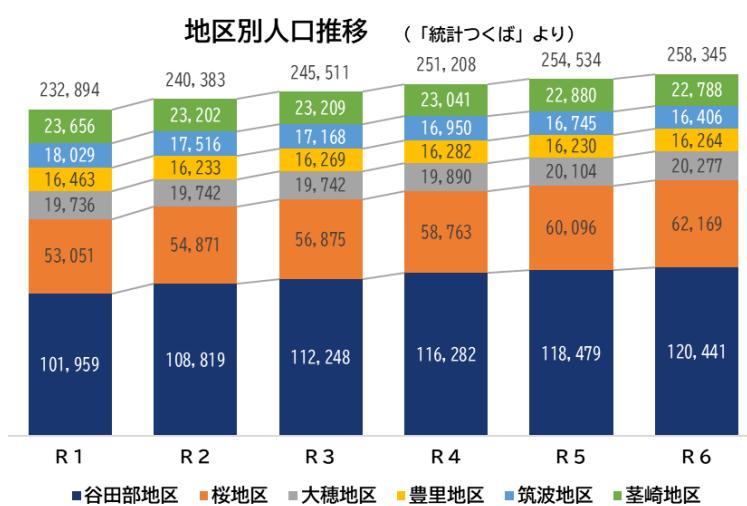
(4) 市民の人口構成の特徴

つくば市は令和6年10月時点で総人口258千人と水戸市に次いで県内2位の人口を抱える自治体である。令和4年と令和6年には、全国の市(特別区を除く)のなかで、人口増加率全国1位となった。TX沿線の宅地開発が進んだことや、コロナ禍にリモートワークが進んだこと、都心の地価高騰などがつくば市の人口増を誘引していると考えられる。

特に、TX沿線エリアを含む谷田部地区、桜地区の人口増加が顕著であり、令和元年と比較して令和6年は17-18%人口が増えている。

一方で、市内郊外の豊里地区、筑波地区、茎崎地区は人口が減少しており、特に筑波地区は令和元年と比較して令和6年は約10%人口が減っている。

直近5年間で総人口の約1割にあたる約2.7万人の人口が増えている谷田部地区、桜地区に住む新しい市民は、筑波地区等の周辺エリアの魅力を知つてもらう観光施策のターゲット層と捉えられる。

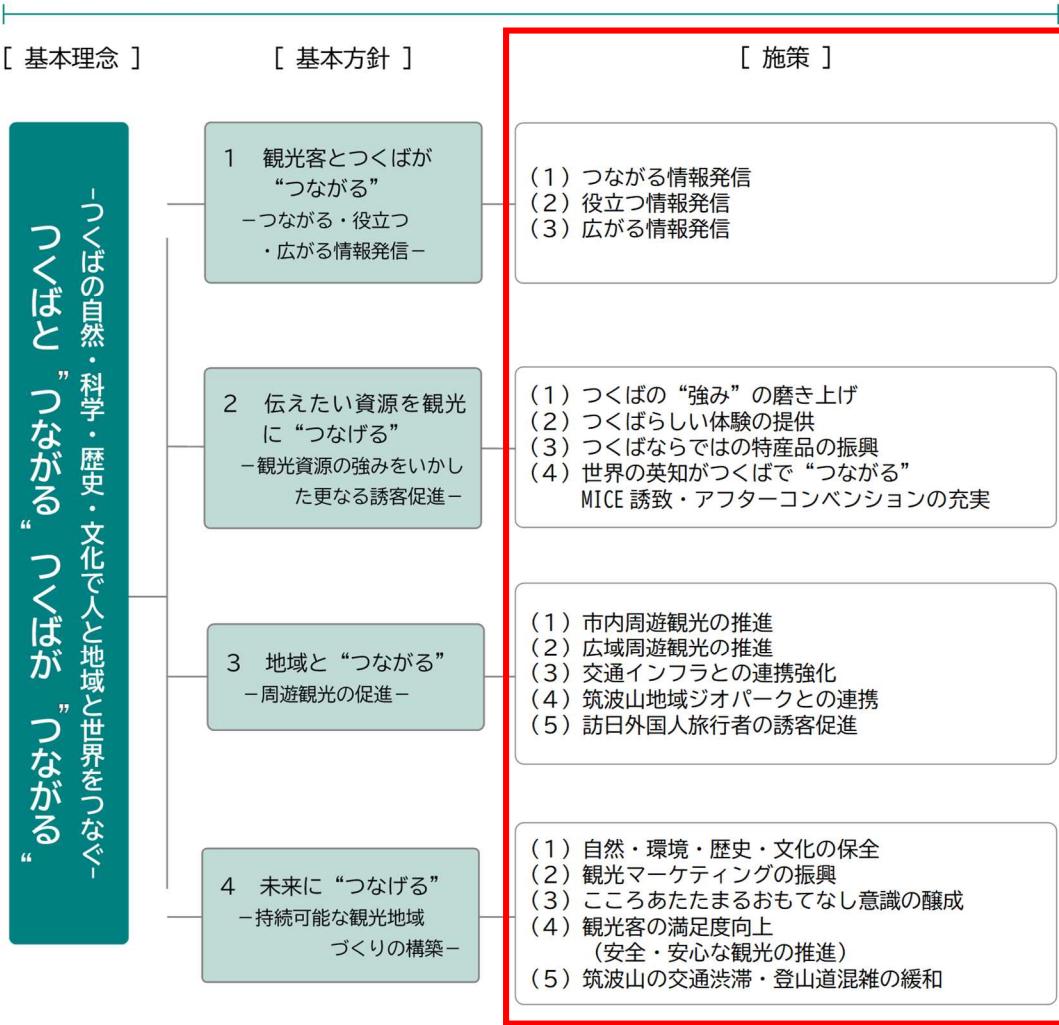


第3次つくば市観光基本計画アクションプラン 中間検証

○アクションプランとは？

第3次つくば市観光基本計画の基本方針に紐づく「施策」について、具体的な行動目標を定めたものです。

施策の体系



第3次つくば市観光基本計画 P46 参照

議題(3)

○アクションプランの進捗状況（概況）

詳細は、別途アクションプラン冊子にてご確認いただけます。

観光基本計画 施策	評価指標 (KPI)	R6 目標・実績値	達成度
1-(1)つながる情報発信	観光推進課とつくば観光コンベンション協会で作成している紙媒体の広報物数を3分野程度まで絞る。	目標：5分野	遅れ
		実績：6分野	
1-(2)役立つ情報発信	市内映えスポットや体験コンテンツなどの紹介記事を月平均5回以上SNSに投稿する。	目標：60件	順調
		実績：X88件 Instagram22件	
1-(3)広がる情報発信	市民やマスメディアがつくば市に関する情報を取り上げやすい状態にする。	目標：写真提供10件 観光PR動画再生回数15,000回	順調
		実績：写真提供10件、動画提供8件、観光PR動画再生回数39,398回	
2-(1)つくばの“強み”の磨き上げ	・市内の様々な観光資源を活用したつくばならではの体験型観光イベントの誘致を推進し、効果や事業の継続性を検証していくことで、持続的なつくば市の新たな体験型観光コンテンツの創設を目指す。	体験型観光イベント事業数 目標：2件 実績：2件	順調
2-(2)つくばらしい体験の提供	まつりつくばとつくばフェスティバルを開催し、それに加え、筑波山ゲートパークなどの市内既存施設やサイエンスツアー等を活用したイベントを実施する。	イベント実施数 目標：3件 実績：5件	順調
2-(3)つくばならではの特産品の振興	関係団体と連携し、地元グルメ振興策を検討する。市内グルメイベントをPRする。	グルメイベントPR回数 目標：5件 実績：5件	順調
2-(4)世界の英知がつくばで“つながる”MICE誘致・アフターコンベンションの充実	「研究学園都市」というつくば市の特徴を市民や市内事業者がさらに感じられる状態にする。	補助金交付団体によるエクスカーションや市民公開講座の実施など市民や市内事業者への還元取組件数 目標：5件 実績：2件	遅れ

議題(3)

3-(1)市内周遊観光の推進	周遊コースを既存のフットパス5コースに加えて、6コース設定する。R7年度以降は、完成した周遊コースをPRし、PV数をKPIとする。	周遊コース数 目標：11件 実績：11件	順調
3-(2)広域周遊観光の促進	事業者、協議会等と連携しながら広域での人流創出を図る。	広域連携PR実施回数 目標：7件 実績：7件	順調
3-(3)交通インフラとの連携強化	交通事業者と連携し、周遊切符等のPRを実施することで、公共交通機関で観光スポットへアクセスしやすい状態にする。	交通事業者と連携しPRした回数 目標：24件 実績：23件	順調
3-(4)筑波山地域ジオパークとの連携	令和5年11月オープンのつくばジオミュージアムを活用したPRや企画を行い、認知度の向上、地域の魅力や価値の発信につなげる。	つくばジオミュージアムを活用したイベントやPRの回数 目標：9件 実績：10件	順調
3-(5)訪日外国人旅行者の誘客促進	留学生等、つくば市と接点のある外国人と交流し、外国人にとって魅力的なコンテンツを洗い出す。	意見交換会など外国人との交流回数 目標：2件 実績：2件	順調
4-(1)自然・環境・歴史・文化の保全	環境保全活動や登山マナーなどを入山者に分かりやすくPRし、持続可能な観光地の構築を図る。	マナー向上を啓蒙する取組数 目標：5件 実績：8件	順調
4-(2)観光マーケティングの振興	観光入込客数調査や、各事業の実績データを分析し、観光施策の評価分析につなげる。	各施策の実施・準備にあたつて行うデータ分析数 目標：6件 実績：6件	順調
4-(3)こころあたたまるおもてなし意識の醸成	つくば観光コンベンション協会と連携して、おもてなし研修や意見交換等を実施する。	研修の実施回数 目標：2件 実績：2件	順調
4-(4)観光客の満足度向上（安全・安心な観光の促進）	観光施設の整備を順次行い、観光満足度向上を図る。	大規模修繕の件数 目標：2件 実績：3件	順調
4-(5)筑波山の交通渋滞・登山道混雑の緩和	筑波山に来訪者が集中するGWと秋の行楽シーズンに適宜混雑緩和対策を実施する。	渋滞緩和策数 目標：4件 実績：4件	順調

○「遅れ」となっている評価指標について

1-(1)つながる情報発信

紙媒体と電子媒体の発信を整理し、ターゲットに合った発信をするという目的で、アクションプランの目標は、つくば観光コンベンション協会と市で作成している紙媒体の広報物を精査し、重複している広報物の統一化、分野数の削減とした。

【現状発行している紙媒体の広報物の分野】：6分野

- ①フットパス（市）
- ②市内周遊観光モデルコース（市）
- ③施設案内（市、協会）
- ④登山関係（協会）
- ⑤市内観光総合案内（協会）
- ⑥市内花木案内（市）

しかし、広報物の棚卸しを行い検証したところ、両者で重複している広報物はなく、どれも需要のある内容ばかりであることが分かった。

また、観光パンフレットにおいては、紙の需要も高く、制作している広報物は毎年増刷を繰り返している。

そのため、令和7年度、8年度は、無理に紙のパンフレットの発行分野を絞るのではなく、ターゲット別に紙と電子を使い分けできているかを検証していきたい。

2-(4)世界の英知がつくばで“つながる”MICE誘致・アフターコンベンションの充実

目標に定めている項目のうち、市民公開講座の実施や市内事業者と連携したプログラムの実施に対する補助を令和7年度開催会議から開始したため、まだ実績が出ていない状態。

令和7年度実績からは、目標程度の効果が見えてくる予定。

アンケートを収集する目的

様々な関係者の意向等を把握し、第4次観光基本計画の基礎資料とするため。

過去の計画

第1次観光基本計画	アンケート収集なし
第2次観光基本計画	インターネット調査 対象：つくば市を除く首都圏在住の男女のうち、直近1年以内に国内旅行をした方（日帰り含む） 回収数：2,000件 郵送調査 対象：つくば市へのパンフレット等送付請求者及びスポーツ合宿の申請団体 郵送数：841枚 回収数：403枚（回収率47.9%）
第3次観光基本計画	インターネット調査 対象：関東圏在住者のうち、18歳以上の男女 ※ただし、つくば市在住者は除く 回収数：1,049件

第4次観光基本計画のアンケート実施案

基本の考え方：内容の濃い意見を収集するため、できるだけつくば市の観光と近しい相手に意見を求める。

	対象	目的	特記事項
1	茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部会員向け	市内で最も「観光業」と繋がりが深い業界団体に「つくば市の観光」について具体的な意見を求める。	弱いと言われている宿泊観光の促進に向けた意見、インバウンドへの意識などを調査したい。
2	つくば観光コンベンション協会会員、首都圏新都市鉄道、JRバス、サイエンスツアーバスが停車する研究所、商工会会員向け（関東鉄道、茨城交通、常南交通、観光鉄道等は協会会員）	観光振興に資する組織である協会に属する事業者へ総論的な意見を求める。	会員の業種が多種に渡り、決して観光業がメインとは言えない事業者も多いため、ホテル旅館向けよりは抽象的な質問にしている。 観光に軸足を置いている事業者が、何を課題に思って、どう対策したい（してほしい）と考えているか調査したい。 ※1の対象者の9割が2のアンケートの対象もある。
3	観光客・市民向け	<u>観光客の趣向、情報収集方法、市内観光資源の認知度等を調査する。</u> 来訪施設でもアンケート協力を呼び掛けるため、市民も含める。（つくば市の人口は、直近5年間で全体の約1割にあたる2.7万人増えている。つくば市との接点は深いが観光資源については熟知していない新しい市民の意見は、観光客の視点も捉えられる。）	過去実施しているインターネット調査（有料）は、モニター会員を抱えている会社に依頼するため、回答数は保証されるが、つくば市についての知見は保証されないので「知らない」「行ったことない」「興味ない」といった回答が多くなる。 質をあげるため、収集方法は以下を考えている。 ・案内所等来訪場所に二次元コードを設置する。 ・ホテル旅館に協力を求め、ロビー等に二次元コードを設置させてもらう。 ・つくスマアプリ ・いばらき電子申請システムで作成し広報紙とつくスマで拡散
4	SNSフォロワー向け	つくばの観光に興味がある層にピンポイントで意見を聞く。	X、Instagramとも4択まで 手軽に回答できる。

茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部会員向けアンケート

1 事業者名と御担当者様名を教えてください。(任意)

※回答内容について追加でお話を伺わせていただく場合、御連絡させていただく際使用します。

事業者名

御担当者様

市内宿泊施設の
客層を把握

2 宿泊者の割合を大まかに教えてください。(学生合宿は観光に含めてください。)

観光客	1割・2割・3割・4割・5割・6割・7割・8割・9割・10割
観光以外 (ビジネス客等)	1割・2割・3割・4割・5割・6割・7割・8割・9割・10割

3 貴施設視点で、つくば市の観光の強みは何だとお考えか教えてください。(複数選択)

- ・筑波山、宝篋山等の自然観光地がある
- ・研究機関が集積している
- ・レジャー施設がある
- ・MICE 等の会議開催が多い
- ・駅前等でのイベント開催が多い
- ・食、酒が充実している
- ・首都圏や空港からのアクセスが良い
- ・人口が増加している
- ・リピーター客が多い
- ・目立った強みはない
- ・その他 ()

施設側の認識を把握

4 貴施設視点で、つくば市の観光の弱みは何だとお考えか教えてください。(複数選択)

- ・観光スポットが少ない
- ・観光イベントが少ない
- ・物産品が少ない
- ・主要観光地及び周辺観光地の情報が少ない
- ・滞在時間が短い
- ・市内公共交通が不便
- ・リピーター客が少ない
- ・目立った弱みはない
- ・その他 ()

施設側の認識を把握

茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部会員向けアンケート

5 観光振興において、貴施設で取り組んでいること、行政に期待していることについて教えてください。(複数選択、貴施設 or 行政の選択式)

	貴施設 取組み	行政に 期待
広域観光案内の充実		
市内観光案内の充実		
案内等の多言語化		
ホームページ(自社・OTA)やSNS、メディア等を活用した情報発信の強化		
新聞、雑誌、看板等紙媒体を活用した情報発信の強化		
団体客の誘致		
商談会、展示会への参加		
海外での現地プロモーションの実施		
施設内のサービス向上		
接遇の向上		
体験メニューの企画・実施		
大型イベントの企画・実施		
朝型・夜型・閑散期誘客型など分散観光を促すメニューの企画開発		
地域の関係者(事業者、行政、市民等)との連携		
その他()		

6 貴施設でのインバウンド対応状況について教えてください。(複数選択)

- ・多言語対応できるスタッフを常駐している。
- ・案内表示や書類、メニュー等を多言語表記している。
- ・ホームページ、SNSでの情報発信を多言語で行っている。
- ・多言語の観光パンフレット等を配架している。
- ・海外へ向けたプロモーションを積極的に行っている。
- ・需要が少ないので特段の対応はしていない。
- ・その他()

施設側のインバウンド
への意識を問う。

7 宿泊観光を推進するために有効だと思う施策を教えてください。(複数選択)

- ・市内周遊観光の促進による市内滞在時間の拡大
- ・広域周遊観光の促進
- ・コンベンションの誘致強化
- ・日本酒、ワイン、地ビールなど酒を活用した誘客促進
- ・日本夜景遺産である筑波山からの夜景PR
- ・まつり等イベントの実施
- ・その他()

宿泊率が低い地域で、宿泊施設がどうすれば宿泊を促せると考えているか問う。

茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合つくば支部会員向けアンケート

8 その他、つくば市の観光について自由に御記載ください。（任意）

1 貴事業所の業種を御回答ください

- ・宿泊業
- ・飲食業
- ・卸/小売業
- ・製造業
- ・建設/設備業
- ・交通/運輸業
- ・神社仏閣
- ・各種団体
- ・サービス業
- ・その他

2 事業者名と御担当者様名を教えてください。(任意)

※回答内容について追加でお話を伺わせていただく場合、御連絡させていただく際使用します。

事業者名 _____ 御担当者様 _____

3 貴社の経営において、つくば市の観光需要はどれくらいの重要度か教えてください。

- ・経営の基盤となる最重要要素である
- ・経営基盤は他にあるが重要な要素である
- ・あれば良いが、無くても経営に支障はない
- ・特に考慮していない

4 つくば市が重点的に取り組むべきと思う観光施策を3つまで選んでください。

- ・ターゲットを見据えた観光情報の発信
- ・市内観光資源の発掘
- ・市内周遊観光の促進（市内滞在時間の長期化）
- ・広域連携による周遊観光の促進
- ・「筑波山」「科学の街」等のつくばらしさを押し出した観光PR
- ・国際会議の誘致等コンベンション事業の推進
- ・インバウンド誘客促進
- ・まつりつくば等大型イベントの開催
- ・観光受入体制の強化（施設整備、混雑対策、おもてなし強化等）
- ・観光統計の収集、分析、戦略建て等マーケティング

各業界から見た行政
への意向を聞く

5 貴社の直近の経営状況について、コロナ前後を比較して当てはまるものを選んでください。

- ・コロナ前（2019年以前）以上の売上等を達成している。
- ・コロナ前（2019年以前）と同等レベルまで回復した。
- ・コロナ前（2019年以前）よりも売上等が減少している。

各業界の大まかな景
気を把握する

6 観光事業を活用した事業経営で、貴社において課題と捉えていることを教えてください。(複数選択)

- ・人材不足（後継者不足）
- ・施設の老朽化
- ・需要の減少
- ・繁忙期、閑散期の需要の波に対する対策
- ・キャッシュレス対応等の電子化
- ・情報発信
- ・多言語対応
- ・関係する事業者や行政との連携不足
- ・特になし
- ・その他（ ）

各事業者の課題感を把握する

7 観光事業を活用した事業経営で、貴社で取り組んでいること（取り組みたいこと）、行政に期待していることを教えてください。（複数選択、貴施設 or 行政の選択式）

	貴施設 取組み	行政に 期待
ホームページやSNS、メディア等を活用した情報発信の強化		
新聞、雑誌、看板等紙媒体を活用した情報発信の強化		
関係者との連携強化（事業者、行政等）		観光振興に関する全般的な意向を把握。
人材育成・人材教育		行政要望一辺倒ではなく、施設側の取組状況も同時に問う。
商品やサービスの高付加価値化		
デジタル技術の活用		
バリアフリーの強化		
その他（ ）		

8 貴社で将来的に取り組んでいきたい観光事業の取り組みを教えてください。（任意）

（任意）

9 貴社が観光客におすすめすべきだと思うつくば市ならではの観光資源を3つまで選んでください。

- ・筑波山/筑波山神社
- ・宝篋山
- ・ジオパーク（つくばジオミュージアム、各ジオサイト等）

つくば観光コンベンション協会会員等向けアンケート

- ・研究展示施設（JAXA、筑波実験植物園、地質標本館、地図と測量の科学館、産総研）
- ・レジャー施設（つくばわんわんランド、エキスポセンター、フォレストアドベンチャー・つくば等）
- ・サイクリング（サイクルパークつくば、つくば霞ヶ浦りんりんロード等）
- ・史跡（平沢官衙遺跡、小田城址等）
- ・神社仏閣
- ・花木（筑波山梅林、つくば牡丹園、つくばローズガーデン等）
- ・日本酒、ワイン、地ビールなどの地酒
- ・食（ラーメン、パンをはじめ個性的な店が多いこと）
- ・公園（大池公園、洞峰公園、万博記念公園等）
- ・その他（ ）

10 その他、つくば市の観光について自由に御記載ください。（任意）

観光客・市民向けアンケート
(つくスマ、SNS、市広報紙、案内所等でアンケートフォームを案内)

1 あなたの年代を教えてください。

- ・10代以下
- ・20代
- ・30代
- ・40代
- ・50代
- ・60代
- ・70代以上

2 あなたの居住地を教えてください。

- ・茨城県内（市区町村：）
- ・千葉県
- ・埼玉県
- ・東京都
- ・神奈川県
- ・栃木県
- ・群馬県
- ・その他（都道府県：）

3 【つくば市在住の方へ】あなたのつくば市居住歴を教えてください。

- ・1年未満
- ・1年以上3年未満
- ・3年以上5年未満
- ・5年以上10年未満
- ・10年以上20年未満
- ・20年以上

4 つくば市への主な来訪目的を教えてください。

- ・観光
- ・ビジネス
- ・帰省（親戚訪問）/知人訪問
- ・買い物（日用品を除く）
- ・通勤/通学
- ・市内、近隣市に居住している

つくば市民も回答できる
ような選択肢を設定

5 あなたが思うつくば市で余暇を過ごすことの魅力を教えてください。（複数選択）

- ・交通アクセスが良い
- ・自然観光を楽しめる（筑波山、宝篋山等）
- ・温泉を楽しめる
- ・見学できる研究機関が多い（JAXA、国土地理院等）
- ・大きな公園が多い
- ・飲食店が充実している
- ・特産品が豊富
- ・イベントが多い
- ・商業施設が充実している
- ・神社仏閣、文化財の見どころが豊富

観光客・市民向けアンケート
(つくスマ、SNS、市広報紙、案内所等でアンケートフォームを案内)

- ・サイクリングが楽しめる
- ・花木が楽しめる（筑波山梅林、つくば牡丹園、つくばローズガーデン等）
- ・地元産の酒が豊富（地酒、地ビール、ワイン等）
- ・その他（ ）

6 あなたがつくば市で余暇を過ごすのに不足していると思うことを教えてください。
(複数選択)

- ・交通の利便性
- ・観光スポットの数
- ・主要観光地および周辺観光地の情報
- ・宿泊施設の情報
- ・飲食店の情報
- ・特産品のPR
- ・イベントの充実度
- ・体験コンテンツの充実度
- ・おもてなしの心
- ・外国語対応
- ・その他（ ）

7 次のうち知っている観光スポットを全て選択してください。

- ・筑波山/筑波山神社
- ・宝篋山
- ・フォレストアドベンチャー・つくば
- ・筑波山ふれあいの里
- ・筑波山ゲートパーク（つくばジオミュージアム、サイクルパーク・つくば、アニメ企画展示室）
- ・つくばわんわんランド
- ・つくば霞ヶ浦りんりんロード
- ・大池公園（北条大池）
- ・平沢官衙遺跡
- ・小田城跡
- ・金村別雷神社
- ・つくば産のお酒の製造場（日本酒の酒蔵、ワイナリー、ブルワリーなど）
- ・果物狩り（ブルーベリー、いちごなど）
- ・豊里ゆかりの森
- ・つくば牡丹園

観光客・市民向けアンケート
(つくスマ、SNS、市広報紙、案内所等でアンケートフォームを案内)

- ・洞峰公園
- ・万博記念公園
- ・茎崎こもれび六斗の森
- ・高崎自然の森
- ・つくばエキスポセンター
- ・JAXA 筑波宇宙センター
- ・地図と測量の科学館
- ・地質標本館
- ・筑波実験植物園
- ・AIST-Cube (旧サイエンス・スクエア つくば)

8 次のうち知っているイベント等を全て選択してください。

- ・つくばフェスティバル
- ・まつりつくば
- ・ガママつり
- ・筑波山麓秋祭り
- ・くきざき夢まつり
- ・筑波山梅まつり
- ・市内周遊観光モデルコース「TSUKUBA おでかけ journey！」

9 つくば市内を移動する手段として「利用しやすい交通手段」を教えてください。(複数選択)

- ・電車
- ・路線バス
- ・タクシー
- ・つくチャリ
- ・レンタサイクル
- ・レンタカー
- ・自家用車/社用車
- ・自転車

10 あなたが観光（おでかけ）する際、何で情報収集しますか？(複数選択)

- ・Instagram
- ・TikTok
- ・Facebook
- ・X

観光客・市民向けアンケート
(つくスマ、SNS、市広報紙、案内所等でアンケートフォームを案内)

- ・YouTube
- ・旅行事業者ホームページ（JTB、じゃらん、楽天トラベル等）
- ・検索サイト（Google、Yahoo!など）
- ・新聞
- ・雑誌
- ・口コミ
- ・行き先の施設や観光協会、市町村に資料請求
- ・その他（ ）

11 あなたが家族、友人、知人におすすめしたいつくば市ならではの観光資源を3つまで選んでください。

- ・筑波山/筑波山神社
- ・筑波山温泉
- ・宝篋山
- ・ジオパーク（つくばジオミュージアム、各ジオサイト等）
- ・研究展示施設（JAXA、筑波実験植物園、地質標本館、地図と測量の科学館、産総研等）
- ・レジャー施設（つくばわんわんランド、エキスポセンター、フォレストアドベンチャー・つくば等）
- ・サイクリング（サイクルパークつくば、つくば霞ヶ浦りんりんロード等）
- ・史跡（平沢官衙遺跡、小田城址等）
- ・神社仏閣
- ・花木（筑波山梅林、つくば牡丹園、つくばローズガーデン等）
- ・日本酒、ワイン、地ビールなどの地酒
- ・グルメ（ラーメン、パンをはじめ個性的な店が多いこと）
- ・公園（大池公園、洞峰公園、万博記念公園等）
- ・その他（ ）

12 その他、つくば市の観光について自由に御記載ください。（任意）